

本資料は 年 月 日付けで登録区分、
変更する。 2001. 6. 20

[技術情報室]

安全管理業務報告

(平成6年度第2・四半期)

1994年9月

動力炉・核燃料開発事業団
東海事業所

こ
転載、
い。

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部 技術協力課

本

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)
2001

安全管理業務報告

(平成6年度第2・四半期)



桜井 直行

要 旨

平成6年度第2・四半期（平成6年7月～平成6年9月）に実施した業務概要について報告する。

記載項目は、安全管理業務概要、安全管理一般、放射線管理、環境安全、個人被ばく管理、小集団活動の推進、研究開発、外部発表等について、取りまとめたものである。

目 次

1.	安全管理業務概要	1
2.	安全管理一般	5
2.1	規定・規則類の整備	5
2.2	安全衛生委員会等の活動	6
2.2.1	安全衛生委員会	6
2.2.2	東海事業所安全専門委員会	7
2.2.3	再処理施設安全専門委員会	10
2.2.4	安全主任者会議	12
2.2.5	安全連絡会	13
2.3	教育訓練実施状況	14
2.3.1	安全管理部が事業所の窓口として手続等を行った 講習会・資格取得試験	14
2.3.2	安全管理部以外で主催された教育訓練への講師等派遣	16
2.3.3	安全管理部員が参加した講習会・資格取得試験	17
2.3.4	安全管理部以外で主催された所内教育訓練への参加	20
2.3.5	安全管理部内で実施した教育訓練	22
2.4	安全パトロール，安全点検等の実施状況	25
2.4.1	課内安全衛生パトロール	25
2.4.2	安全主任者会議パトロール	26
2.4.3	安全管理部安全主任者巡視点検	27
2.5	監督官庁への許認可申請及び報告等	28
2.5.1	科学技術庁	28
2.5.2	水戸労働基準監督署	30
2.5.3	茨城県庁	30
2.5.4	東海村消防本部	31
2.6	安全管理部品質保証推進委員会	31

2.7	安全管理部研究開発推進委員会	32
3.	放射線管理	33
3.1	放射線管理第一課所掌施設	33
3.1.1	放射線管理業務概要	33
3.1.2	放射線作業計画等の実施状況	34
3.1.3	管理区域等の設定・解除	40
3.1.4	作業環境における放射線測定結果	41
3.2	放射線管理第二課所掌施設	57
3.2.1	放射線管理業務概要	57
3.2.2	放射線作業計画等の実施状況	58
3.2.3	管理区域等の設定・解除	67
3.2.4	作業環境における放射線測定結果	68
3.2.5	被ばく，汚染サーベイ報告	81
3.3	放射線管理用機器の管理	82
3.3.1	放射線管理用機器の整備及び検査	82
3.3.2	主な設備の管理	82
3.4	マスクマンテスト実施状況	88
4.	環境安全	89
4.1	環境監視業務	89
4.1.1	試料採取及び前処理	89
4.1.2	環境放射能分析	92
4.1.3	海洋観測及びモニタリング船「せいかい」の活動	94
4.1.4	気象観測	95
4.1.5	環境データ処理状況	95
4.2	放出放射能監視業務	96
4.2.1	排水中の放射性物質及び一般公害物質の監視結果	96
4.2.2	排気中放射性物質の分析	99
4.2.3	外部機関による立入サンプリング時の試料分析	100

4.3	内部被ばく管理（バイオアッセイ）	101
4.3.1	定常バイオアッセイ	101
5.	個人被ばく管理	102
5.1	外部被ばく管理	102
5.1.1	放射線業務従事者の被ばく管理	102
5.1.2	一時立入者の被ばく管理	102
5.1.3	作業モニタリング	103
5.2	内部被ばく管理	103
5.2.1	定常モニタリング	103
5.3	線量当量測定結果の報告，通知，登録関係業務	103
5.3.1	国への報告	103
5.3.2	放射線従事者中央登録制度関係業務	103
5.4	個人線量計等の管理	104
5.5	特記事項	104
5.5.1	その他の線量測定	104
5.5.2	研究生の受け入れ	104
6.	小集団活動の推進	120
6.1	東海事業所小集団活動（TSK）の推進	120
6.1.1	主な活動	120
6.2	安全管理部小集団活動（ASK）の推進	120
7.	研究開発等	121
7.1	個人被ばく線量当量測定・評価技術の開発	121
7.1.1	外部被ばく線量測定・評価技術の高度化	121
7.1.2	内部被ばく線量測定・評価技術の向上	121
7.2	放射線モニタリング技術の開発	121
7.2.1	放射線測定器の校正技術の標準化	121
7.2.2	プルトニウム取扱施設における中性子スペクトルの測定	121
7.2.3	新技術の適用による方法の改良と標準化	122

7.2.4	放射線管理情報集中処理システムの開発	122
7.3	環境安全技術の開発	122
7.3.1	環境影響評価手法に関する研究	122
7.3.2	放射性核種の環境移行に関する研究	122
7.3.3	分析技術の開発に関する研究	123
7.4	安全工学研究	123
7.4.1	空气中放射性物質の挙動評価技術の開発	123
7.4.2	放射性物質の閉じ込めに関する研究	123
7.4.3	異常事象挙動に関する研究	123
7.4.4	核燃料施設の安全解析手法の開発・整備	123
7.4.5	核燃料施設の確率論的安全評価に関する研究	123
8.	外部発表等	125
8.1	外部発表（学会論文発表，外部機関誌論文発表，その他の外部発表）	125

1. 安全管理業務概要

(1) 保安管理業務

平成6年度の安全管理基本方針に従い、安全に関する諸活動等を実施した。連続無災害日数は、9月末現在で、435日である。

① 安全管理

月例の安全衛生委員会、安全専門委員会及び安全専門部会を開催した。

② 許認可及び規定等

高圧ガス関係許認可申請を1件行うとともに、高圧ガス完成検査を5件受検した。

また、労働安全衛生法に基づくクレーン、ボイラ等の性能検査を22件受検した。

規制法に基づく許認可事項では、再処理施設については、設置変更承認申請を1件、設計及び工事の方法の認可の申請を3件行い、使用前検査を25件受検した。

核燃料物質使用施設については、施設検査を2件受検した。

また、再処理施設保安規定については、ガラス固化技術開発施設の運転開始等に伴う変更認可申請を行った。

障防法に基づく許認可事項では、使用変更許可申請を1件行い、施設検査を1件受検した。

(2) 施設の放射線管理

① 核燃料物質使用施設等

プルトニウム燃料工場、環境施設部、核燃料技術開発部、再処理技術開発部、安全管理部の各施設において、定常放射線管理及び非定常放射線管理を実施した結果、保安規定等に定める諸基準を超えることはなかった。

② 再処理施設

再処理工場、環境施設、プルトニウム転換技術開発施設、クリプトン回収技術開発施設等において定常放射線管理及び非定常放射線管理並びに気体廃棄物の放出監視を実施した結果、保安規定等に定める諸基準を超えることはなかった。

(3) 環境安全管理

① 環境監視

再処理施設保安規定等の監視計画に基づく空間放射線の測定、環境試料の採取、放射性物質の測定並びに気象観測等の定常業務のほか環境放射線モニタリング中央評価専門部会（以下、「中評部会」という。）の補足的調査項目であるヨウ素-129の蓄積及び移行に関する調査を継続実施した。

② 排気・排水管理

排気試料の分析、排水試料の放射性物質濃度及び一般公害物質濃度の測定等の定常業務を実施した。

これらの結果は、いずれも再処理施設保安規定及び核燃料物質使用施設保安規定等に定める基準を超えることはなかった。

(4) 個人被ばく管理

放射線業務従事者及び一時立入者に対する定常的な線量当量の測定を実施した結果、当該期間中においてはいずれも法令及び保安規定に定める限度を超える被ばくはなかった。

(5) 放射線管理用機器の管理

再処理施設及び核燃料物質使用施設等に設置されている放射線管理用機器が常に正常に作動するように、点検・保守を実施した。

(6) 安全技術の開発

① 安全研究実施計画立案、評価

国の安全研究年次計画及び事業団安全研究基本計画のうち、東海事業所が実施している課題の研究計画について、平成6年度計画を推進するとともに、平成5年度の実績について評価を行った。

② 安全研究の実施

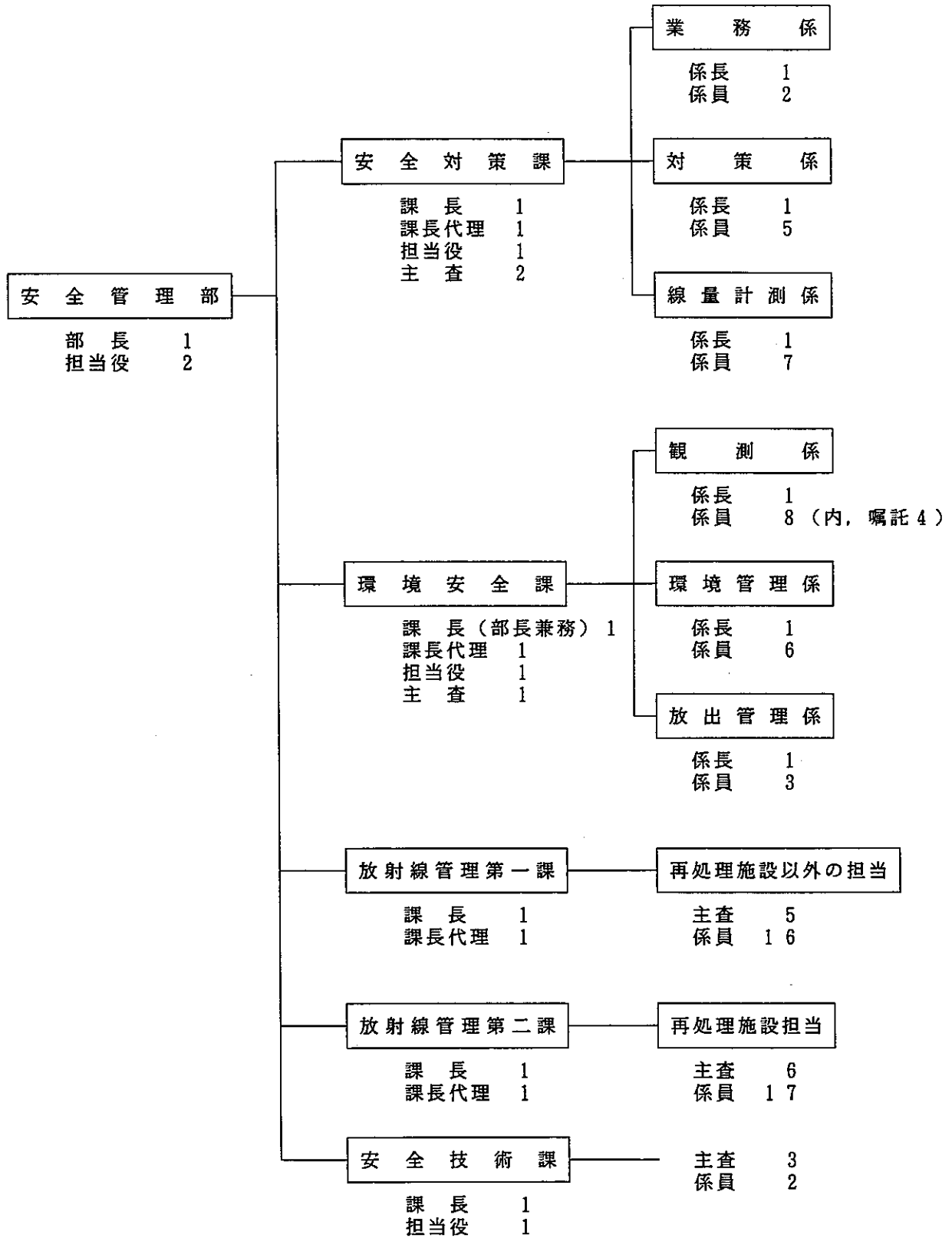
個人被ばく線量当量測定・評価技術、放射線モニタリング技術、環境安全技術、核

燃料施設の安全工学研究等に関する研究開発業務を行った。

③ 安全基準の整備

再処理施設、MOX加工施設の安全技術基準の整備を継続した。

(7) 安全管理部の組織（図－1）



安全管理部合計 100人(内、嘱託4)

図-1 安全管理部の組織(平成6年9月1日)

2. 安全管理一般

2.1 規定・規則類の整備

規定, 規則, 基準等	整備内容	記事
核燃料物質使用施設 保安規定	(1) プルトニウム燃料工場の保安管理組織に 工程内滞留低減対策班長を新設する。 (2) 第Ⅱ編第Ⅰ章第4節「管理区域等の管理」 に係る条文の見直し及び記載表現の見直し を行う。 (3) 臨界管理に係る核的制限値等を明確にす る。 (4) その他, 所要の見直しを行う。	東海事業所安全専門委員 会(審議) 6年8月31日
	(1) 中央安全専門委員会を強化するため, 委 員長に管理担当副理事長を充てる。 (2) 第Ⅱ編「放射線管理」に係る記載表現の 見直しを行うとともに, 関連する条文の見 直しを行う。	東海事業所安全専門委員 会(審議) 6年9月19日
再処理施設保安規定	(1) ガラス固化技術開発施設(TVF)の試 験運転の開始に伴い, 関連する条文及び図 表を変更する。 (2) 第Ⅱ編第Ⅰ章第1節「管理区域等の放射 線管理」に係る文章の整理を行う。 (3) 各施設の貯蔵能力に係る表現を見直す。 (4) その他, 所要の見直しを行う。	変更許可申請 6年8月10日 6動燃(安)021 変更許可 6年8月29日 6安(核規)第559号 施行 6年9月2日
	(1) 中央安全専門委員会を強化するため, 委 員長に管理担当副理事長を充てる。	再処理施設及び東海事業 所安全専門委員会 6年9月26日
放射線障害予防規定	(1) ガラス固化技術開発施設(TVF)にお けるRIの使用に伴い, 関連する条文, 図 を変更する。	再処理施設及び東海事業 所安全専門委員会 (審議) 6年8月17日 6年8月31日
	(1) 中央安全専門委員会を強化するため, 委 員長に管理担当副理事長を充てる。	再処理施設及び東海事業 所安全専門委員会 6年9月26日

2.2 安全衛生委員会等の活動

2.2.1 安全衛生委員会

開催日	議 題
7月21日	1. 安全専門委員会報告
	2. 安全主任者会議報告
	3. 平成6年度安全週間（準備期間を含む）行事实施結果について
	4. 放射線管理強化キャンペーンについて
	5. 分煙問題について
	6. 平成6年度安全衛生委員会委員について
	7. 安全衛生委員会開催予定日について
	8. その他
8月18日	1. 安全専門委員会報告
	2. 安全主任者会議報告
	3. 平成6年度第1四半期被ばく状況報告
	4. 平成6年度第1四半期衛生管理状況報告
	5. 平成6年度全国労働衛生週間行事案（含準備期間）
	6. 再処理工場工務部分析課に於ける手部被ばくの原因調査結果と対策について
	7. 平成6年度全国産業安全衛生大会について
	8. その他
9月22日	1. 安全専門委員会報告
	2. 安全主任者会議報告
	3. 平成6年度電気使用安全月間運動について
	4. 放射線管理強化キャンペーン実施結果について
	5. その他

議長：大木康正（副所長）

委員：桜井直行（安管部）	須藤清二（管理部労務課）	五十嵐孝行（安管部）
川上一善（建工室）	野田純也（管理部労務課）	春山愼二（研管課）
油井三和（環開部GIS）	榎 彰（再処理管理課）	吉野弘之（Pu工場管理課）
武田啓二（環施部技術課）	植頭康裕（安管部環安課）	久江 正（建工室）
横塚純一（建工室）	宮本泰明（核開部新濃室）	三浦幸一（再開部PAS）
北野光昭（環開部GIS）	高橋睦男（再処理化三課）	栗田 勉（Pu工場転換課）
大西清孝（Pu工場検査課）	池上靖志（環施部TVS）	

事務局：野村 保・鈴木 猛・宇津重次（安管部安対課）

2.2.2 東海事業所安全専門委員会

(1) 各部安全専門部会の審議を経た後、本委員会において下記の審議を行った。

月 日	議 題
7月12日 (臨時)	1. 第2専門部会 (1) 連続予備焼結炉の撤去・更新作業…………… <審議事項>
7月18日 (臨時)	1. その他 (1) 再処理施設保安規定の変更…………… <審議事項>
7月27日 (定例)	1. 第2専門部会 (1) グローブボックス内クリーンアウト作業〔Ⅱ〕…………… <審議事項> 2. 第3専門部会 (1) MOX-Gd ₂ O ₃ 燃料要素（IPA-590）用燃料ペレットの製造に係る核燃料物質使用計画の変更…………… <報告事項> 3. その他 (1) 再処理施設核物質防護規定の変更…………… <審議事項>
8月31日 (定例)	1. 第2専門部会 (1) プルトニウム燃料第三開発室における核燃料物質使用変更許可申請（その1）…………… <報告事項> (2) プルトニウム燃料第三開発室における核燃料物質使用変更許可申請（その2）…………… <報告事項> (3) 「ふげん」取替燃料用（第24回製造分）ペレットの製造に係る核燃料物質使用計画（Ⅰ）…………… <報告事項> (4) 「ふげん」取替燃料用（第24回18体分）燃料要素及び燃料集合体の製造に係る核燃料物質使用計画（Ⅰ）…………… <報告事項> (5) 「ふげん」取替燃料用（第24回18体分）燃料集合体の検査に係る核燃料物質使用計画（Ⅰ）…………… <報告事項> (6) グローブボックス内クリーンアウト作業〔Ⅲ〕…………… <審議事項> 2. 第3専門部会 (1) 燃料製造機器試験室における安全作業基準の改訂…………… <報告事項>

月 日	議 題
	3. 第4専門部会 (1) プルトニウム廃棄物処理開発施設安全作業基準の変更…………… < 報告事項 > 4. その他 (1) 放射線障害予防規定の変更…………… < 審議事項 > (2) 核燃料物質使用施設保安規定の変更…………… < 審議事項 >
9月9日 (臨時)	1. 第1専門部会 (1) 高レベル放射性物質研究施設における核燃料物質使用変更許可申請…………… < 審議事項 >
9月19日 (臨時)	1. その他 (1) 東海事業所計量管理規定(第3編)の改訂…………… < 審議事項 > (2) 核燃料物質使用施設保安規定の変更…………… < 審議事項 >
9月26日 (定例)	1. 第1専門部会 (1) 低レベル濃縮廃液からの核種除去試験に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > (2) 高レベル放射性廃液の処理処分試験に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > (3) 高速炉燃料再処理試験に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > 2. 第2専門部会 (1) 「常陽」第6次取替炉心燃料用燃料製造(加工組立工程)に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > (2) 「常陽」MK-II第6次取替炉心燃料集合体検査作業に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > (3) 「もんじゅ」第1次取替炉心用燃料ペレット等の製造(ペレット製造工程)に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > (4) 湿式回収工程設備のプルトニウム試験に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 > 3. 第3専門部会 (1) ペレット製造評価試験(2)に係る核燃料物質使用計画…………… < 報告事項 >

月 日	議 題
9月27日 (臨時)	1. その他 (1) 再処理施設保安規定の変更…………… <審議事項>
9月30日 (臨時)	1. その他 (1) 放射線障害予防規定の変更…………… <審議事項>

委員長：中田 啓（副所長）

委 員：桜井直行（安管部） 松本忠邦（再開部担当役） 高橋俊夫（Pu建設室）
 山本純太（核開部プル開室） 桜井 明（環施部担当役） 加藤修司（再処理化処二課）
 小森芳昭（核取主任者） 五十嵐孝行（放取主任者） 小泉重俊（建工室担当役）
 小形佳昭（再処理技術課） 五十嵐幸（再開部担当役） 大村憲次（Pu設備課）
 須藤 収（核開部新濃室） 入之内重徳（環施部処理二課） 石川博久（環開部地層処分）
 野村 保（安管部安対課）

事務局：桜井 寛・白井謙二・米沢秀成（安管部安対課）

2.2.3 再処理施設安全専門委員会

(1) 各部安全専門部会の審議を経た後、本委員会において下記の審議を行った。

月 日	議 題
7月15日 (臨時)	1. 委員会 (1) 再処理施設保安規定の変更…………… <審議事項>
7月20日 (定例)	1. 委員会 (1) 再処理施設核物質防護規定の変更…………… <審議事項> (2) 平成6年度第2四半期環境施設運転計画の変更…………… <審議事項>
8月17日 (定例)	1. 第三専門部会 (1) 安全作業基準(クリプトン施設)の変更…………… <報告事項> (2) ガラス固化技術開発施設の「試験運転」の開始に伴う再処理施設放射線管理基準の変更…………… <報告事項> 2. 委員会 (1) 放射線障害予防規定の変更…………… <審議事項>
8月26日 (臨時)	1. 第三専門部会 (1) 安全作業基準(再処理工場)の変更…………… <報告事項> (2) 安全作業基準(環境施設)の変更…………… <報告事項> (3) 事故対策手順(環境施設)の変更…………… <報告事項> (4) 低放射性固体廃棄物の取扱い手順書の変更…………… <報告事項> (5) 再処理施設放射線管理基準の変更…………… <報告事項>
9月21日 (定例)	1. 第一専門部会 (1) 固化体評価用グローブボックスの改造…………… <報告事項> (2) 再処理施設洗濯設備の改造…………… <報告事項> 2. 第二専門部会 (1) 廃棄物カスク交換作業に伴う手部の被ばくについて…………… <報告事項>

月 日	議 題
	<p>3. 第三専門部会</p> <p>(1) プルトニウム転換技術開発施設低放射性固体廃棄物の取扱手順書の変更…………… <報告事項></p> <p>4. 委員会</p> <p>(1) 平成6年度第3四半期再処理工場運転計画…………… <審議事項></p> <p>(2) 平成6年度第3四半期環境施設運転計画…………… <審議事項></p> <p>(3) 平成6年度第3四半期転換施設運転計画…………… <審議事項></p> <p>(4) 平成6年度第3四半期クリプトン施設運転計画…………… <審議事項></p>
<p>9月26日 (臨時)</p>	<p>1. 委員会</p> <p>(1) 再処理施設保安規定の変更…………… <審議事項></p> <p>(2) 放射線障害予防規定の変更…………… <審議事項></p>

委員長 : 山内 孝道 (建設工務管理室)

委員 : 小森 芳昭 (核取主任者) 渡辺 義之 (再処理 化処一課)

 和地 勇 (環施部 処理一課) 舛井 仁一 (再処理 分析課)

 加藤 修司 (再処理 化処二課) 鴨志田軍勝 (再処理安全主任者)

 本田 淳 (再処理 化処三課) 大西 徹 (再処理 前処理課)

 岩田 昇 (建設工務管理室) 宮本 陽一 (環開部 L T S)

 宮部賢次郎 (安管部 放一課) 米川 雪夫 (Pu 転換課)

 深川 節男 (Pu 検査課) 石田順一郎 (安管部 放二課)

事務局 : 桜井 寛・白井 謙二・米沢 秀成 (安管部 安対課)

2.2.4 安全主任者会議

開催日	議 題
7月19日	1. 各部・工場安全主任者巡視・点検結果報告（6月分）
	2. 7月期安全主任者会議巡視計画（案）
	3. 委員会報告
	4. 6月期安全主任者会議巡視・点検結果の処置対策について
	5. 安全大会企画アンケートの実施について
	6. 共通安全作業基準等集の見直し案について
	7. その他
8月22日	1. 安全主任者及び職制による巡視・点検結果報告（7月分）
	2. 8月期安全主任者会議巡視計画（案）
	3. 委員会報告
	4. 7月期安全主任者会議巡視・点検結果の処置対策について
	5. 平成6年度全国産業安全衛生大会について
	6. 平成6年度茨城県産業安全大会参加報告について
	7. 共通安全作業基準等集の見直し案について（B-4 第一種圧力容器及び第二種圧力容器の管理要領）
	8. 共通安全作業基準等集の見直し案について（B-5 冷凍圧力ガス製造施設管理要領）
	9. 共通安全作業基準等集の見直し案について（B項 器具・備品等の自身対策基準）
	10. その他
9月19日	1. 安全主任者及び職制による巡視・点検結果報告（8月分）
	2. 9月期安全主任者会議巡視計画（案）
	3. 委員会報告
	4. 8月期安全主任者会議巡視・点検結果の処置対策について
	5. 共通安全作業基準等集の見直し案について（B-18 一般公害施設の管理要領）
	6. スクラップ機材運搬中の左足親指の負傷について
	7. その他

安全主管者 : 五十嵐孝行 (安管部)
 安全主任者 : 小沢絃一郎 (安管部) 小泉 重俊 (建工室) 塩谷健二郎 (管理部)
 岡部 正則 (研管課) 鴨志田軍勝 (再処理) 埜 清 (Pu工場)
 桜井 明 (環施部)
 事務局 : 宇津 重次 (安管部安対課)

2.2.5 安全連絡会

開催日	議題
7月11日	1. 安全主任者に係る活動について
	2. その他

大木 康正（副所長） 桜井 直行（安管部） 野村 保（安対課）
 安全主管者：五十嵐孝行（安管部）
 安全主任者：塩谷建二郎（管理部） 岡部 正則（研管課） 堀 清（Pu工場）
 桜井 明（環施部） 小泉 重俊（建工室） 鴨志田軍勝（再処理）
 事務局：宇津 重次（安管部安対課）

開催日	議題
8月23日	1. 電気主任技術者等と安全主任者との情報・意見交換
	2. その他

電気主任技術者：小泉 重俊（建工室）
 電気保安主任者：黒沢 邦夫（管理部） 和田 孝雄（再開部） 田多井和明（建工室）
 小笠原甲士（研管課） 遠藤 秀俊（環開部） 三輪 敏博（Pu工場）
 安全主管者：五十嵐孝行（安管部）
 安全主任者：小澤紘一郎（安管部） 塩谷建二郎（管理部） 鴨志田軍勝（再処理）
 堀 清（Pu工場） 小泉 重俊（建工室）
 事務局：宇津 重次（安管部安対課）

開催日	議題
9月12日	1. 情報・意見交換
	2. その他

産 業 医：須藤 清二
 安全主管者：五十嵐孝行（安管部）
 安全主任者：小澤紘一郎（安管部） 小泉 重俊（建工室） 塩谷建二郎（管理部）
 岡部 正則（研管課） 鴨志田軍勝（再処理） 桜井 明（環施部）
 事務局：宇津 重次（安管部安対課）

2.3 教育訓練実施状況

2.3.1 安全管理部が事業所の窓口として手続等を行った講習会・資格取得試験

件名	主催	実施日	受講者数
毒物劇物取扱者講習会	茨城県衛生部	7/5~6	17
溶接技術検定更新試験	(株)日本溶接協会茨城県支部	7/9	3
安全管理に関する研修会	東海村危険物安全協会	7/10~11	1
天井クレーン運転士免許技能講習	(財)江南クレーン技能教習所	7/11~18	2
電気取扱業務(高圧・特別高圧)に係る特別教育	(株)茨城労働基準協会連合会	7/14~15	7
危険物取扱者保安講習会	(株)茨城県危険物安全協会連合会	7/18	38
高圧ガス保安係員講習	(株)茨城県高圧ガス保安協会	7/19~20	10
フォークリフト運転技能講習	(株)茨城労働基準協会連合会	7/20	5
普通第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習	(株)日本ボイラ協会茨城支部	7/21~22	8
危険物取扱者保安講習会	(株)茨城県危険物安全協会連合会	7/25	9
フォークリフト運転技能講習	(株)茨城労働基準協会連合会	7/27~29	3
公害防止管理者講習会	公害防止協会	7/24	4
床上操作式クレーン運転技能講習会	(株)水戸労働基準協会	8/1~2	4
天井クレーン運転士免許技能講習	(財)江南クレーン技能教習所	8/1~8	2
毒物劇物取扱者試験	(株)茨城県薬剤師会	8/2	17
フォークリフト運転技能講習	(株)茨城労働基準協会連合会	8/3~5	2
公害防止管理者講習会	公害防止協会	8/6	4
床上操作式クレーン運転技能講習会	(株)水戸労働基準協会	8/6~7	4
二級ボイラー技士免許試験	(財)安全衛生技術試験協会	8/24	1
エックス線作業主任者免許試験	関東衛生センター	8/25	32
玉掛技能講習	(株)水戸労働基準協会	8/26~28	30
公害防止管理者講習会	公害防止協会	8/28	4

件名	主催	実施日	受講者数
公害防止管理者講習会	公害防止協会	9/3	4
第二種消防設備点検資格者講習	(財)日本消防設備安全センター	9/7	2
天井式クレーン免許技能教習	(財)江南クレーン技能教習所	9/19~26	1
公害防止管理者試験	(株)産業環境管理協会	9/25	5
危険物取扱者試験準備講習会	(株)茨城県危険物安全協会連合会	9/27~28	36
特殊ボイラー技士受験準備講習会	(財)日本ボイラ協会	9/27~30	1

2.3.2 安全管理部以外で主催された教育訓練への講師等派遣

教育訓練名	主催	開催日	派遣講師名
T V S 教育対応	環境施設部処理第三課	7/7	堀 越
放射線業務従事者指定教育講座（共通課程）	核燃料サイクル工学研修室	7/8	椿
” （再処理課程）	再処理工場	7/11	並 木
施設安全解析コード基礎講座（ORION）	核燃料サイクル工学研修室	7/13~14	叶 野山 晴
確率論的安全評価基礎講座	”	7/14	野 尻
臨海安全応用講座	”	7/20	宮 部
放射線業務従事者指定教育講座（共通課程）	”	7/22	秋 山
核燃料技術応用講座	”	7/25	大 関 百 瀬
”	”	7/26	百 瀬
T V S 教育対応	環境施設部処理第三課	7/27	堀 越
放射線業務従事者指定教育講座（共通課程）	核燃料サイクル工学研修室	8/5	椿
” （再処理課程）	再処理工場	8/8	永 井
T V S 教育対応	環境施設部処理第三課	8/10	堀 越
放射線計測基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	8/22	小 嶋
”	”	8/23~26	小 嶋 長谷川
放射線業務従事者指定教育講座（共通課程）	”	8/26	秋 山
”	”	9/9	井 上
” （再処理課程）	再処理工場	9/12	堀 越
” （共通課程）	核燃料サイクル工学研修室	9/30	鈴木（一）

2.3.3 安全管理部員が参加した講習会・資格取得試験

講習会等の名称	主催	期間	参加者	
			氏名	所属
毒物劇物取扱者講習会	(株)茨城県薬剤師会	7/5~6	蛭町 秀	安全技術課
「生体及び環境試料中のアクチノイド・長半減期核種の低レベル測定」に関する第5回国際会議	秋田大学医学部 公衆衛生学教室	7/10~15	住谷 秀一	環境安全課
第31回理工学における同位元素研究発表会	日本アイソトープ協会	7/11	渡辺 均	〃
QCサークル推進者コース	(財)日本科学技術連盟	7/11~13	百瀬 琢磨	安全対策
第400回リーダー活性化コース	ブレンダイナミックス	7/12~15	三上 智	放射線管理第一課
電気取扱業務に係る特別教育	(株)茨城労働基準協会連合会	7/14~15	森藤 将之	放射線管理第二課
第二種酸欠作業主任者講習会	〃	7/18~20	堀田 豊	〃
赤十字蘇生法高等科講習会	日本赤十字社茨城県支部	7/21	久賀 勝利	安全対策課
危険物取扱者保安講習会	(株)茨城県危険物 安全協会連合会	7/25	江尻 英夫	放射線管理第二課
第4回「EGS4研究会」	高エネルギー物理学研究所	7/25~27	野尻 一郎	安全技術課

講習会等の名称	主催	期間	参加者	
			氏名	所属
毒物劇物取扱者試験	茨城県衛生部	8/2	蛭町 秀	安全技術課
赤十字蘇生法高等科研修会	日本赤十字茨城県支部	8/4~7	久賀 勝利	安全対策課
'94 Kumatoriサマーセミナー 保健物理勉強会	日本保健物理学会	8/10	百瀬 琢磨	"
'94 Kumatoriサマーセミナー	京都大学原子炉実験所他	8/10~11	田中 裕史	放射線管理第二課
'94 Kumatoriサマーセミナー	日本保健物理学会	8/10~12	津浦 伸次	放射線管理第一課
QCサークル推進者コース	(協)日本科学技術連盟	8/11~13	百瀬 琢磨	安全対策課
第一種衛生管理者試験	関東安全衛生技術センター	8/24	小沢 絃一郎 堀越 義紀	安全管理部 放射線管理第二課
第一種放射線取扱主任者試験	原子力安全技術センター	8/24~25	稲葉 久美 田中 裕史	放射線管理第二課
X線作業主任者試験	関東安全衛生技術センター	8/25	佐藤 浩司	"
第二種放射線取扱主任者試験	原子力安全技術センター	8/26	成田 誠	"
ICP-M Sの最適化とEPA メソッドによる環境分析の実際	横河 アナリティカルシステムズ	8/29	森田 重光	環境安全課

講習会等の名称	主催	期間	参加者	
			氏名	所属
特定化学物質等作業主任者試験	関東安全衛生技術センター	8/29~30	佐藤浩司	放射線管理第二課
QCサークルリーダーコース	(株)日本科学技術連盟	9/5~7	仲田梨香	安全対策課
第38回放射化学討論会	第38回放射化学討論会 実行委員会	9/26~28	吉田美香	環境安全課
第30回緊急被ばく救護訓練課程研修	科学技術庁 放射線医学総合研究所	9/26~30	江尻明	安全対策課
管理者・推進事務局フォーラム	ブレンダーイミナックス	9/28~29	洲崎輝雄	”
日本原子力学会「1994年秋の大会」	(株)日本原子力学会	9/28~30	辻野清 村尻水 憲一義 雄郎雄	安全対策課 安全技術課 ”
新QC七つ道具セミナー入門	(株)日本科学技術連盟	9/29~10/1	森藤将之	放射線管理第二課

2.3.4 安全管理部以外で主催された所内教育訓練への参加

教育訓練名	主催	開催日	参加人数
平成6年度所安全大会	所安全大会実行委員会	7/1	10
Macintosh入門講座(基礎操作)	核燃料サイクル工学研修室	7/5~6	3
第15回SSK大会	SSK推進委員会	7/12	14
鈴木篤之東大教授による「新長計と動燃」講演会	技術開発推進部	7/12	1
溶接検査技術訓練基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	7/12~14	1
救急員再教育	"	7/12~14	2
施設安全解析コード基礎講座(ORION)	"	7/13~14	1
" (環境被ばく)	"	7/13~14	2
Macintosh入門講座(EXCEL)	"	7/19~20	2
臨界安全応用講座	"	7/19~20	1
Macintosh基礎講座(4th Dimension)	"	7/21~22	1
核燃料技術応用講座	"	7/25~29	1
第14回TSK大会	TSK大会実行委員会	7/28	8
Macintosh基礎講座(Aldus Pagemaker)	核燃料サイクル工学研修室	7/28~29	1
施設安全解析コード基礎講座(SAP)	"	8/3~4	2
放射線計測基礎講座	"	8/22~26	3
所R&D成果報告会	技術開発推進部	8/25	3
事務系及び女子従業員向けの電気保安教育	建設工務管理室	8/26	2
センサ技術入門講座	核燃料サイクル工学研修室	8/29~31	1
原子力品質保証基礎講座	"	8/30~31	4
所TVF見学会	環施部処理第三課	8/31	2
第513回サークルリーダーコース	(財)日本科学技術連盟	9/5~7	1
保証措置講座特別講演	核燃料サイクル工学研修室	9/6~7	4

教 育 訓 練 名	主 催	開 催 日	参 加 人 数
異常時対応訓練	再処理工場前処理課	9/7	62
新人職員追研修	人事部	9/18~23	2
救急員養成講座	核燃料サイクル工学研修室	9/19~22	1
電気従事者教育訓練講座	"	9/27	1

2.3.5 安全管理部内で実施した教育訓練

教 育 訓 練 名	主 催	開 催 日	参 加 人 数
排気業務（ルーチン業務）教育	放射線管理第二課	7/1～8	6
三交替勤務新規対応者教育	”	7/5～6	5
実務教育 照射装置の取扱い（階層別）	放射線管理第一課	7/13	32
保安教育 放射能業務従事者指定	環境安全課	7/14	2
実務教育 プルトニウム燃料工場における核燃料物質等取扱い作業の基本動作マニュアルの変更について	放射線管理第一課	7/14	33
防護具類の着脱装訓練	放射線管理第二課	7/18～22	52
実務教育 放射線作業計画書・報告書作成要領等の周知	放射線管理第一課	7/26	8
実務教育 異常発生時の対応	”	7/26	18
課 R & D 発表会	放射線管理第二課	7/26	18
実務教育 災害事例等の課内教育	環境安全課	7/27	31
実務教育 現場責任者の基本動作マニュアルの周知	”	7/27	32
保安教育 その他の労働安全衛生教育	”	7/27	33
作業事故及び身体汚染対応訓練	放射線管理第一課	7/27	13
特殊放射線作業対応者教育	放射線管理第二課	7/27	4
就業前放射線業務従事者指定教育（施設）	放射線管理第一課	7/28	4
実務教育 放射線管理基準値等の周知	”	7/28	19
実務教育 放射線管理機器の警報設定について	”	7/28	19
ビデオによる電気安全教育	”	8/1	84
A S Kサークルリーダー研修会	A S K推進部会	8/3	7
名古屋大学森教教講演会	安全対策課	8/8	1
異常時対応訓練	放射線管理第二課	8/9	7

教 育 訓 練 名	主 催	開 催 日	参 加 人 数
半面マスクの装・脱着訓練	安全管理部	8/10	6
就業前放射線業務従事者指定教育（施設）	放射線管理第一課	8/22, 29	36
T V F 施設従事者指定教育	放射線管理第二課	8/22～23	78
放管マニュアル改訂に伴う教育	”	8/22～23	78
臨界警報吹鳴による退避訓練及び職場防護班活動訓練（A Z 訓練）	放射線管理第一課	8/23	45
電気保安教育	安全対策課	8/24	12
実務教育 安全作業基準概要（校正施設，再処理施設）	放射線管理第一課	8/24	31
実務教育 トラブル時に使われる主な用語（階層別：初級）	”	8/29	5
実務教育 表面密度の管理について	”	8/30	17
危険物・化学薬品の取扱教育	安全技術課	8/30	9
規定・基準類の改訂に伴う教育	放射線管理第二課	9/5～14	81
実務教育 パソコンのソフト勉強会	環境安全課	9/12, 14	26
就業前放射線業務従事者指定教育（施設）	放射線管理第一課	9/12	1
特作記入要領周知教育	放射線管理第二課	9/12	14
実務教育 再処理施設保安規定及び再処理施設放管基準の変更について（周知）	放射線管理第一課	9/13	34
保安教育 放射線業務従事者指定	環境安全課	9/14	1
放射性同位元素の取扱い	放射線管理第一課	9/14	5
直対応再教育	放射線管理第二課	9/16	18
15分スピーチ及び課内技術勉強会	”	9/20	30
小集団新人教育	”	9/20	4
就業中保安教育（規定・基準等の改訂）	放射線管理第一課	9/22	19
異常時対応訓練	放射線管理第二課	9/22	9

教 育 訓 練 名	主 催	開 催 日	参 加 人 数
就業前放射線業務従事者指定教育（施設）	放射線管理第一課	9/29	1
再処理施設の排気管理	安全対策課	9/30	9
不適合事象事例研究勉強会	放射線管理第二課	9/30	17

2.4 安全パトロール，安全点検等の実施状況

2.4.1 課内安全衛生パトロール

実施日	重点項目	点検箇所	点検者
7月1日	4 S	環安課担当室	飛田，片桐，渡辺，宮河，坪
"	2 S 状況の確認及び作業環境 状況の確認	放一課担当室	江花，松本，津浦，井上
"	5 S 等	安技課担当室	牧野，武藤，谷川
4日	"	安対課担当室	野村，桜井，竹松，白井
5日	"	放二課担当室	石田，二之宮，大西，稲葉
8月1日	5 S 等	安対課担当室	野村，澤畑，鈴木，辻村
"	2 S 及び不安全ヶ所の確認	環安課担当室	飛田，片桐，吉崎，坪，住谷
"	電気使用及び2 S の状況確認	放一課担当室	江花，松本，津浦，鈴木，井上
"	5 S 等	安技課担当室	成田，林，武藤，谷川
8日	"	放二課担当室	石田，二之宮，猿田，森藤，稲葉
9月1日	5 S 等	安対課担当室	野村，椿谷，仲田，根本
"	2 S の状況確認	放一課担当室	江花，深沢，根本，井上
"	5 S 等	安技課担当室	成田，武藤，蛭町，谷川
2日	実験室の4 S ・不安全行動の 摘出	環安課担当室	飛田，片桐，吉崎，渡辺，坪
7日	5 S 等	放二課担当室	石田，堀越，稲葉

2.4.2 安全主任者会議パトロール

実施日	重点項目	点検箇所
7月26日	(1) 電気設備の安全使用状況 (2) 整理・整頓	核燃料技術開発部，再処理技術開発部，環境技術開発部 ・ CPF, A・B棟，工学試験棟 ・ Pu第一開発室，G棟，H棟，L棟
8月30日	(1) 運搬装置・工作機械の安全 (2) 昇降器具の健全性 (3) 整理・整頓	再処理工場 ・ 主工場，分析所 ・ AAF, E施設，Z施設
9月29日	(1) 高圧ガス設備の管理状況 (2) 工作機械の管理状況 (3) 電気設備の管理状況 (4) 整理・整頓状況	建設工務管理室 ・ 工作工場，特高変電所，輸送容器保管庫，海中放出管撤去工事現場

2.4.3 安全管理部 安全主任者巡視点検

実施日	点検重点項目	点検箇所
7月5日	不安全状態表示, 2S	安管棟, F棟, 校正室
6日	4S	再処理工場内放 二課
21日	"	CPF, 放二課
26日	不安全状態	安管棟外辺
8月10日	放射線安全	放一課・二課
19日	放射線安全, 4S	Pu転換, 放二課
22日	"	安対課
26日	"	TVF, 放二課
9月9日	4S	安対課線計居室
12日	4S, 工事安全	放一課, 校正室
19日	4S, 不安全状態	再処理工場
22日	工事安全	Pu工場, 放一課

2.5 監督官庁への許認可申請及び報告等

2.5.1 科学技術庁

(1) 核燃料物質の使用変更等

使用施設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
プルトニウム燃料第一開発室	電気化学分析装置及び公害規制物質除去設備の新設等	使用変更許可 6年7月29日 6安(核規)第7号
プルトニウム燃料第二開発室	回収品保管装置の新設等	
燃料製造機器試験室	電気炉, 粉末混合機, 噴霧熱分解試験装置の新設等	
G棟	遅れ破壊試験装置の負荷部の移設, 引張試験機の増設等	
プルトニウム廃棄物処理開発施設	プルトニウム廃棄物貯蔵施設の排気モニタの更新	施設検査合格 6年7月20日 5安(核規)第423号

(2) 再処理施設の設置変更等

再処理施設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
クリプトン回収技術開発施設	クリプトン回収技術開発施設における固定化試験の実施に伴う再処理施設設置変更	設置変更申請 平成6年8月30日 6動燃(安)704
再処理工場	分析設備グローブボックスラインの改造	設工認申請 平成6年8月24日 6動燃(安)644
プルトニウム転換技術開発施設	焙焼還元炉及び廃液蒸発缶等の更新	使用前検査合格 平成6年9月20日 6安(核規)第158号
アスファルト固化技術開発施設	アスファルト固化技術開発施設の定置式モニタ設備の一部更新	設工認認可 平成6年8月29日 6安(核規)第421号 使用前検査申請 平成6年9月7日 6動燃(安)707 使用前検査合格 平成6年9月19日 6安(核規)第622号

再処理施設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
ガラス固化技術開発施設	ガラス固化技術開発施設付属排気筒への排気サンプリング設備の設置	使用前検査申請 平成6年8月12日 6動燃(安)695
そ の 他	ユーティリティ設備の配置の変更	使用前検査申請 平成6年8月17日 6動燃(安)701

(3) 放射性同位元素等の許可使用に係る変更許可申請等

施 設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
クリプトン回収技術開発施設	施設検査	施設検査申請 6年7月19日 6動燃(東海)176 施設検査合格 6年8月8日 放検発6合第70号 (6年8月10日付け)
ガラス固化技術開発施設	許可使用に係る変更許可申請	使用変更許可申請 6年8月5日 6動燃(東海)207 変更許可 6年8月8日 6水原第671号

(4) 四半期等の報告

報告の種類	報告対象期間	報告内容・根拠	報告先
環境放射線管理報告書	平成6年第2四半期 { 6年4月1日 } { 6年6月30日 }	事業所周辺環境の放射線量及び環境試料中放射性物質濃度 { 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第21条第2項の規定による。 }	水戸原子力事務所 { 科学技術庁長官宛 } { 6年7月29日報告 } 6動燃(安)018

2.5.2 水戸労働基準監督署

申請・届出等

件名	内容	該当施設	日付
クレーン廃止届	将来の運転予定がないため。	中央運転管理室	6.9.13
	将来の運転予定がないため。	濃縮施設	6.9.13
エレベータ使用再開検査申請	エレベータの使用を開始するため。	Pu工場	6.9.13
クレーン廃止届	老朽化のため。	再処理工場	6.9.22

2.5.3 茨城県庁

(1) 申請・届出等

件名	内容	該当施設	日付
高圧ガス製造施設変更許可申請(一般)	CEタンク(2基)が老朽化したため、撤去して新たにCEタンク(1基)を設置する。	G棟	6.7.15

(2) 委員会、協定等に基づく報告

報告の種類	期間	報告内容	報告先
茨城県東海地区環境放射線監視委員会報告	平成6年度第1四半期(6年4月~6月)	東海事業所及び周辺における環境放射線及び環境試料中放射性物質濃度	茨城県東海地区環境放射線監視委員会委員長 6動燃(東海)193
茨城県との安全協定に基づく四半期報告	同上	東海事業所における排気・排水の放射能濃度及び放出量	茨城県知事及び隣接市町村長(総務課経由)
再処理排気・排水月間報告	平成6年6月 7月 8月	再処理施設排気・排水の放射能濃度及び放出量	茨城県環境部長 6動燃(東海)192 6動燃(東海)258 6動燃(東海)315

(3) その他

該当なし

2.5.4 東海村消防本部

件名	内容	該当施設	日付
危険物保安監督者 選解任届	中央運転管理棟用屋外タンク 貯蔵所の新設に伴う選任	中央運転管理棟用 屋外タンク貯蔵所	6. 9. 14

2.6 安全管理部品質保証推進委員会

開催日	議題
8月3日	(1) 平成6年度 品質保証定期自主監査の対応について
8月19日	(1) 平成6年度 品質保証定期自主監査資料の作成について
8月31日	(1) 平成6年度 品質保証定期自主監査資料の作成について (2) 平成6年度 安全管理部QAパトロールの実施について
9月8日	(1) 平成6年度 安全管理部施設品質保証定期自主監査の実施
9月27日	(1) 平成6年度 安全管理部QAパトロールの実施

委員長 江花 稔 (放射線管理第一課長)
副委員長 牧野 明寛 (安全技術課担当役)
委員 宇津 重次 (安全対策課主査) 坪 憲 (環境安全課主査)
今泉 謙二 (環境安全課) 水谷 啓一 (放射線管理第一課主査)
長谷川市郎 (放射線管理第一課) 児玉 浩一 (放射線管理第二課主査)
岡田 和彦 (放射線管理第二課) 武藤 重男 (安全技術課主査)
事務局 久賀 勝利 (安全対策課主査)

3.1.2 放射線作業計画等の実施状況

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(安全管理部)	(第1種放射線作業)	
	該当なし	
	(第2種放射線作業)	
	該当なし	
(再処理技術開発部)	(第1種放射線作業)	
CPF	除染室パネルグローブ及びPVC点検作業	7/13~7/14
	(第2種放射線作業)	
B棟	固体標準線源による測定作業	7/1~継続
CPF	クレーン設備の点検整備	7/5~継続
CPF	照明灯用蛍光管等の交換作業	7/19~7/20
CPF	消火器及び消火栓の保守点検作業	7/25
CPF	計装設備の点検整備	7/25~継続
CPF	マスタースレーブマニプレーターの保守作業	8/1~
CPF	自動火災報知設備の保守点検作業	8/1~8/2
CPF	マニプレーターの定期点検作業	8/17~8/23
CPF	電気設備の定期点検	8/17~8/31
CPF	廃棄物貯蔵庫天井ポートの点検整備	8/23~8/26
(環境技術開発部)	(第1種放射線作業)	
CPF	高レベル放射性廃液のCB-1セル受入れ	7/11~7/21
CPF	EPMA反射電子検出器の交換	7/26~7/27
	(第2種放射線作業)	
	該当なし	
(核燃料技術開発部)	(第1種放射線作業)	
	該当なし	
	(第2種放射線作業)	

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(核燃料技術開発部)	(第2種放射線作業)	
P u - 1	給排気設備の点検作業	7/9~7/29
濃縮J棟	クレーンホイスト設備の点検整備	7/12~7/19
濃縮J棟, 廃水 第2U	排気ダクトの補修作業	7/13~7/15
P u - 1	スタッドボルト取り付け作業	7/18
P u - 1	高性能フィルターの交換作業	7/18~7/19
濃縮L棟	H E P A フィルタ交換作業	7/19
P u - 1	S E M 及び E P M A の保守作業	7/21
P u - 1	エレベーター設備の点検, 整備	7/21
濃縮G, H, J棟	ルーツブロワーの点検作業	7/22~7/31
濃縮M棟	ヘパフィルタ交換作業	7/26
P u - 1	クレーンホイスト設備の点検設備	7/29
濃縮J, M棟 第2U, 廃水	自動火災報知設備及び誘導灯標識の保守点検作業	8/3~8/10
濃縮J, L, M棟	ガス検知器H F モニタ保守点検作業	8/9~8/11
P u - 1, モックアップ室 ウラン貯蔵庫	自動火災報知設備及び誘導灯の保守点検	8/17~9/6
濃縮L棟	プレフィルタ交換作業	8/19
P u - 1	エレベータ設備の点検, 整備	8/22~8/23
濃縮J, M棟 廃水, 第2U	消火器及び消火栓の保守点検作業	8/24~8/26
P u - 1	クレーンホイスト設備の点検整備	8/26
濃縮L棟	スプレーポンプ用ストレーナーの清掃作業	8/31
P u - 1	消火器及び消火栓の保守点検作業	9/1
モックアップ室	成型整列設備試作機の据付調整	9/1~9/30
P u - 1	絶縁抵抗測定作業	9/10~9/30
P u - 1	焼結設備試作機の据付調整(1)	9/12~9/30

施設名・部屋名	作 業 件 名	実施期間
(核燃料技術開発部)	(第2種放射線作業)	
P u - 1	公害規制物質除去設備の更新	9/13～9/30
P u - 1	エレベータ設備の点検, 整備	9/14
P u - 1	LBC-453機構部の修理	9/14
P u - 1	多重波高分析装置の点検整備	9/19
P u - 1	電子線マイクロアナライザの定期点検	9/26～9/28
P u - 1, モックアップ室	放送設備の点検	9/26～9/30
P u - 1	クレーンホイスト設備の点検整備	9/27
(環境施設部)	(第1種放射線作業)	
	該当なし	
	(第2種放射線作業)	
中廃, P W T F P W S F, U W S F	クレーンホイスト設備の点検整備	7/11, 19
焼却施設, 洗濯場 U W S F	ウラン系施設自動火災報知設備・誘導灯・誘導設備の定期点検・補修	7/20～7/25
P W T F P W S F	自動火災報知設備及び誘導灯, 誘導標識定期点検	7/20～7/25
P W T F	電磁弁及び逆止弁交換作業	8/1～8/26
中廃, P W T F P W S F, U W S F	クレーンホイスト設備の点検整備	8/2～8/24
焼却施設	ウラン系施設消火器の定期点検	8/3～8/10
P W T F, P W S F	プロセス制御盤の点検整備	8/19～8/21
P W T F	電子顕微鏡の保守・点検作業	8/22～8/24
P W T F, P W S F	核物質防護設備に係わる保守・点検	8/23～8/25
P W T F, P W S F	P W T F, P W S F消火設備定期点検	8/29～8/30
P W T F	示差熱分析装置の保守点検	8/29～8/30
(プルニウム燃料工場)	(第1種放射線作業)	
プル燃第三開発室	グローブボックス内クリーンアウト作業	7/1～7/31

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(プルトニウム燃料工場)	(第1種放射線作業)	
プル燃第三開発室	連続予備焼結炉の撤去・更新作業	7/13～9/30
プル燃第三開発室	グローブボックス内クリーンアウト作業(2)	8/1～8/31
プル燃第三開発室	廃棄物受け入れ及び測定作業	8/1～9/30
プル燃第二開発室	湿式造粉設備の撤去	8/22～継続
プル燃第三開発室	グローブボックス内クリーンアウト作業(3)	9/1～9/22
プル燃第三開発室	廃棄物仕分け作業	9/1～9/22
プル燃第三開発室	高性能フィルター交換作業(その1)	9/19～9/30
	(第2種放射線作業)	
プル燃第三開発室	エレベータ設備の点検整備	7/1
プル燃第三開発室	新工程計算機のソフト製作及び通信ケーブル敷設作業	7/1～継続
プル燃第三開発室	クリーンアウト作業に係わる廃棄物受け入れ・保管及び測定作業	7/4～7/29
プル燃第三開発室	γスキャン計算機の点検整備	7/11
プル燃第二開発室	スラリ焙焼設備制御盤の点検整備	7/11～7/13
プル燃第二開発室	給排気設備点検作業	7/13～7/17
プル燃第二開発室	脱ガスバレル点検作業	7/18～8/2
プル燃第三開発室	プルトニウム貯蔵庫管理システムの保守	7/19～7/20
プル燃第二開発室	高性能フィルターの交換作業	7/21
プル燃第三開発室	クレーンホイスト設備の点検整備	7/26～7/27
プル燃第二開発室	クレーンホイスト設備の点検整備	7/29
プル燃第三開発室	ペレット製造工程設備のクリーンアウト及び補修作業	8/1～9/30
プル燃第二開発室	塩ビ配管撤去作業	8/2
プル燃第三開発室	旧焼結設備の撤去・更新に伴うヒータ交換作業	8/2～8/9
プル燃第三開発室	クレーンホイスト設備の性能検査	8/4

施設名・部屋名	作 業 件 名	実施期間
(プルトニウム燃料工場)	(第2種放射線作業)	
プル燃第三開発室	エレベータ設備の点検整備	8/9
プル燃第三開発室	工程計算機の定期点検作業	8/9, 8/26
プル燃第二開発室	消火器及び消火栓の保守点検	8/19
プル燃第二開発室	密度測定システムの改造	8/17~8/29
プル燃第二開発室	自動火災報知設備及び誘導灯の保守点検	8/17~9/6
プル燃第三開発室	自動火災報知設備及び誘導灯の保守点検	8/17, 8/31
プル燃第三開発室	消火器及び消火栓の保守点検	8/18~8/19
プル燃第三開発室	絶縁抵抗測定作業(第三開発室)	8/21
プル燃第二開発室	輸送容器の定期検査	8/22~9/30
プル燃第三開発室	輸送容器の定期点検	8/22~9/30
プル燃第三開発室	定期保守点検作業(燃料加工工程関係)	8/22, 8/26
プル燃第三開発室	定期保守点検作業(ペレット製造工程関係)	8/22, 8/25
プル燃第三開発室	ハロゲン化物消火設備保守点検	8/23~8/24
プル燃第二開発室	ペレット充填装置の保守点検作業	8/23~8/25
プル燃第二開発室	照明器具交換	8/25
プル燃第二開発室	クレーンホイスト設備の点検整備	8/26
プル燃第三開発室	グローブボックス監視用計算機の定期点検作業	8/26~8/29
プル燃第三開発室	保管庫保守作業	8/29~9/30
プル燃第三開発室	溶接器の保守点検	8/30, 8/31
プル燃第三開発室	一時保管庫貯蔵台車の点検作業	8/30, 8/31
プル燃第三開発室	クレーンホイスト設備の点検整備	8/31
プル燃第三開発室	プルトニウム貯蔵庫システムの保守	9/5~9/6
プル燃第三開発室	ワイヤ巻付設備の保守点検	9/5~9/6
プル燃第三開発室	屋内警報設備保守点検	9/5~9/9
プル燃第三開発室	X線装置用制御器の移設及びX線検査設備の保守点検	9/5~9/9

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(プルトニウム燃料工場)	(第2種放射線作業)	
プル燃第三開発室	均一化混合設備増設に係る監視システムの改造工事	9/5～9/28
プル燃第三開発室	検査工程制御システム等の保守点検	9/6～9/9
プル燃第二開発室	洗濯機補修	9/7
プル燃第二開発室	絶縁抵抗測定作業	9/10～9/11
プル燃第二開発室	冷却水配管の移設	9/12～9/22
プル燃第二開発室	ルーツプロア(予備品)の組立作業	9/16
プル燃第二開発室	蒸発性不燃物分析設備の新設(1)	9/16～9/30
プル燃第三開発室	総合検査設備, 集合体組立設備及び端栓溶接装置の保守点検	9/16～9/30
プル燃第三開発室	エレベータ設備の点検整備	9/19
プル燃第三開発室	多重波高分析装置の点検整備	9/19～9/22
プル燃第二開発室	洗濯室ダムウエータ設備の交換作業	9/20
プル燃第二開発室	多重波高分析装置の点検整備	9/20
プル燃第二開発室	高性能フィルター交換作業	9/21
プル燃第二開発室	オイルフリーコンプレッサのオーバーホール	9/22～9/28
プル燃第二開発室	排気ダストサンプラ修理及び点検	9/26～9/27
プル燃第三開発室	WDASの移設	9/26～9/29
プル燃第二開発室	放送設備の点検	9/26～9/30
プル燃第三開発室	均一化混合設備据付工事	9/26～9/30
プル燃第三開発室	放送設備の点検(Pu-3)	9/26～9/30
プル燃第二開発室	クレーンホイスト設備の点検整備	9/27
プル燃第三開発室	クレーンホイスト設備の点検整備	9/27
プル燃第三開発室	二次系冷水ポンプ更新	9/28～9/29

3.1.3 管理区域等の設定・解除

放射線管理第一課担当施設において、管理区域等の設定・解除に核当するものはなかった。

3.1.4 作業環境における放射線測定結果

1) 定常放射線モニタリング

(1) 線量当量率

単位： $\mu\text{Sv/h}$

施設名	内 容		測 定 結 果				
			7 月	8 月	9 月		
安全管理部	安全管理棟	サーベイメータ	γ	*	*	*	
		TLD	γ	*			
	安全管理別棟	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
	計測機器 校正施設	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
TLD		γ	*				
再処理技術開発部	A棟	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
		エリアモニタ	γ	*	*	*	
	B棟	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
		TLD	γ	*			
	B棟 A廃棄物倉庫	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
		TLD	γ	*			
	B棟 B廃棄物倉庫	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
		TLD	γ	*			
	応用試験棟	サーベイメータ	n・ γ	*	*	*	
	CPF	グリーン 区域	エリアモニタ	n・ γ	*	*	*
			サーベイメータ	n・ γ	*	*	*
		アンバー 区域	エリアモニタ	n・ γ	*	*	*
サーベイメータ			n・ γ	*	*	*	
環境施設部	焼却施設	サーベイメータ	γ	*	*	*	
	洗濯場	サーベイメータ	γ	*	*	*	
	中央廃水処理場	サーベイメータ	γ	*	*	*	
	第1廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*	
	第2廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*	
	第3廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*	
	第4廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*	

注 管理目標値 ($50 \mu\text{Sv/h}$) を越えない区域については*印で表示する。また、管理目標値を越えた場合には、その最大値及び場所を記入する。

但し、CPFの管理目標値は（グリーン区域： $12.5 \mu\text{Sv/h}$ 、アンバー区域： $200 \mu\text{Sv/h}$ ）とする。

単位：μSv/h

施設名		内容		測定結果		
				7月	8月	9月
環境施設部	第5廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
	第6廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
	ウラン系 廃棄物貯蔵施設	サーベイメータ	γ	*	*	*
	廃棄物屋外 貯蔵ピット	サーベイメータ	γ	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	サーベイメータ	γ	*	*	*
	プルトニウム 廃棄物貯蔵施設	エリアモニタ	γ	*	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*
屋外固体廃棄物 貯蔵庫No.1~17	サーベイメータ	n・γ	*	*	*	
核燃料技術開発部	G棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	H棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	J棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	L棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	M棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	第2ウラン貯蔵庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	廃油保管庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	廃水処理室	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ		*	
	プルトニウム燃料 第一開発室	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
	ウラン貯蔵庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
	燃料製造機器試験室	サーベイメータ	γ	*	*	*
プルトニウム燃料 工場	プルトニウム燃料 第二開発室	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
	プルトニウム燃料	エリアモニタ	n・γ	*	*	*
	プルトニウム燃料 第三開発室	サーベイメータ	n・γ	*	*	*

注 管理目標値 (50 μSv/h) を越えない区域については*印で表示する。また、管理目標値を越えた場合には、その最大値及び場所を記入する。

(2) 表面密度

単位：Bq/cm²

施設名	内容	測定線種	測定結果		
			7月	8月	9月
安全管理部	安全管理棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	安全管理別棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	計測機器校正施設	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
再処理技術開発部	A棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	B棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	B棟 A廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	B棟 B廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	応用試験棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	C P F	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
環境施設部	焼却施設	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	洗濯場	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	中央廃水処理場	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第1廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第2廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第3廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第4廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第5廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第6廃棄物倉庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*

*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 4.0×10⁻³ Bq/cm²

β(γ) : 4.0×10⁻² Bq/cm²

単位：Bq/cm²

施設名	内容	測定線種	測定結果		
			7月	8月	9月
環境施設部	ウラン系廃棄物貯蔵施設	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	プルトニウム廃棄物処理開発施設	α	*	*	*
	プルトニウム廃棄物貯蔵施設	α	*	*	*
屋外固体廃棄物貯蔵庫 No.1～17	α	*	*	*	
核燃料技術開発部	G棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	H棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	J棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	L棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	M棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第2ウラン貯蔵庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	廃油保管庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	廃水処理室	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
プルトニウム燃料第一開発室	α	*	*	*	
ウラン貯蔵庫	α	*	*	*	
	β(γ)	*	*	*	
燃料製造機器試験室	α	*	*	*	
	β(γ)	*	*	*	
プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料第二開発室	α	*	*	*
	プルトニウム燃料第三開発室	α	*	*	*

*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 4.0×10^{-3} Bq/cm²

β(γ) : 4.0×10^{-2} Bq/cm²

(3) 空气中放射性物質濃度

単位：Bq/cm³

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
安全管理部	安全管理棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	安全管理別棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
再処理技術開発部	A棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	B棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	応用試験棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	C P F	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
		β ダスト モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
		α ダスト モニタ	α	*	*	*
環境施設部	焼却施設	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	洗濯場	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	中央廃水処理場	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	α	*	*	*
		α ダスト モニタ	α	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 貯蔵施設	エアス	α	*	*	*
ニッファ	α	*	*	*		

*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 3.7×10^{-10} Bq/cm³ $\beta(\gamma)$: 1.5×10^{-9} Bq/cm³

単位：Bq/cm³

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
核燃料技術開発部	G棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	H棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	J棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	L棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	M棟	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	第2ウラン貯蔵庫	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	廃水処理室	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム燃料第一開発室	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	α	*	*	*
ウラン貯蔵庫	エアス	α	*	*	*	
	ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*	
燃料製造機器試験室	エアス	α	*	*	*	
	ニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*	
プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料第二開発室	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	α	*	*	*
	プルトニウム燃料第三開発室	エアス	α	*	*	*
		ニッファ	α	*	*	*

*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 3.7×10^{-10} Bq/cm³ $\beta(\gamma)$: 1.5×10^{-9} Bq/cm³

(4) 排気中放射性物質濃度

単位：Bq/cm³

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
安全管理部	安全管理棟	ダスト	α	*	*	*
		サンブラ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	安全管理別棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
再処理技術開発部	A棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	B棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	応用試験棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
環境施設部	焼却施設	ダスト	α	*	*	*
		サンブラ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	洗濯場	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	中央廃水処理場	ダスト	α	*	*	*
		サンブラ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 貯蔵施設	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
核燃料技術開発部	G棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	H棟	ダスト	α	*	*	*
		サンブラ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	J棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	L棟	排気	α	*	*	*
		モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
M棟	排気	α	*	*	*	
	モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*	
第2ウラン貯蔵庫	排気	α	*	*	*	
	モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*	*	

*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 1.5×10^{-10} Bq/cm³

$\beta(\gamma)$: 1.5×10^{-9} Bq/cm³

単位：Bq/cm³

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
核燃料技術開発部	廃水処理室	ダスト	α	*	*	*
		サンブラ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム燃料 第一開発室	排気 モニタ	α	*	*	*
		ウラン貯蔵庫	排気 モニタ	α	*	*
	燃料製造機器試験室		排気 モニタ	α	*	*
		燃料製造機器試験室	排気 モニタ	$\beta(\gamma)$	*	*
プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料 第二開発室		排気 モニタ	α	*	*
	集合体貯蔵庫	排気 モニタ	α	*	*	*
	プルトニウム燃料 第三開発室	排気 モニタ	α	*	*	*

*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 1.5×10^{-10} Bq/cm³ $\beta(\gamma)$: 1.5×10^{-9} Bq/cm³

(5) 排気中放射性物質濃度 (C P F)

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm ³)	期間放出量		
		7月	8月	9月		実測量 (Bq)	不検出量 (Bq)	
全 α	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	3.0×10 ⁴	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (Bq)	0	0				0
		不検出量 (Bq)	1.0×10 ⁴	1.0×10 ⁴				1.0×10 ⁴
全 β (γ)	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	3.0×10 ⁵	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (Bq)	0	0				0
		不検出量 (Bq)	1.0×10 ⁵	1.0×10 ⁵				1.0×10 ⁵
希ガス (⁸⁵ Kr) (¹³³ Xe)	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	2.0×10 ⁻²	2.8×10 ⁻³	7.6×10 ¹⁰	5.0×10 ¹¹	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	3.5×10 ⁻³				
	放出量	実測量 (Bq)	0	0				7.6×10 ¹⁰
		不検出量 (Bq)	1.7×10 ¹¹	1.7×10 ¹¹				1.6×10 ¹¹
¹³¹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	7.5×10 ⁶	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (Bq)	0	0				0
		不検出量 (Bq)	2.5×10 ⁶	2.5×10 ⁶				2.5×10 ⁶
¹²⁹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	7.5×10 ⁶	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (Bq)	0	0				0
		不検出量 (Bq)	2.5×10 ⁶	2.5×10 ⁶				2.5×10 ⁶
³ H	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	7.5×10 ⁹	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (Bq)	0	0				0
		不検出量 (Bq)	2.5×10 ⁹	2.5×10 ⁹				2.5×10 ⁹

*印は検出限界未満を表す。

検出限界

全 α : 1.5×10⁻¹⁰ Bq/cm³, ¹²⁹I : 3.7×10⁻⁸ Bq/cm³全 β (γ) : 1.5×10⁻⁹ Bq/cm³, ³H : 3.7×10⁻⁵ Bq/cm³¹³¹I : 3.7×10⁻⁸ Bq/cm³, ⁸⁵Kr : 2.4×10⁻³ Bq/cm³

(6) 飲用水中放射性物質濃度

単位：Bq/cm³

施設名	測定線種	測定結果			備考
		7月	8月	9月	
プルトニウム燃料 第一開発室	α	*	*	*	
プルトニウム燃料 第二開発室	α	*	*	*	
プルトニウム燃料 第三開発室	α	*	*	*	
プルトニウム廃棄物 処理開発施設	α	*	*	*	

注) 管理目標値 ($\alpha : 1.0 \times 10^{-4}$ Bq/cm³) を超えない区域については*印を記入する。
又、これを超えた場合には、最大値及び場所を記入する。

2) 搬出物品等に対する放射線管理

搬出物品等に係るモニタリング件数は以下の表のとおりである。

単位：件

施設	モニタリングの内容	廃棄物		搬出物		
		放射線性	非放射線性	放射性物質	一般物品	
7月	安全管理部施設		0	—	0	11
	再処理技術開発部	C P F	5	—	6	72
		B棟等*1	0	—	5	21
	環境施設部	プルトニウム廃棄物処理開発施設	0	—	1	27
		プルトニウム廃棄物貯蔵施設*2	3	—	0	3
		洗濯場*3	11	—	0	31
	核燃料技術開発部	ウラン濃縮施設*4	2	—	27	88
		プルトニウム燃料第一開発室	2	—	6	33
		燃料製造機器試験室	0	—	0	19
		ウラン貯蔵庫	0	—	3	3
	プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料第二開発室	4	—	15	83
		プルトニウム燃料第三開発室	6	—	18	127
	合計		33	—	81	518

*1：A棟，応用試験棟を含む。

*2：屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。

*3：焼却場，中央廃水処理場，第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫，ウラン系廃棄物貯蔵施設を含む。

*4：G棟，H棟，J棟，L棟，M棟，第2ウラン貯蔵庫，廃水処理，廃油保管庫を含む。

単位：件

施設		モニタリング の内容	廃棄物		搬出物	
			放射 性	非放射 性	放射 性物質	一般 物品
8 月	安全管理部施設		0	—	0	8
	再 処 理 技 術 開 発 部	C P F	4	—	6	100
		B 棟 等* ¹	1	—	3	24
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	—	1	48
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設* ²	0	—	0	4
		洗濯場* ³	6	—	0	26
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設* ⁴	9	—	19	111
		プルトニウム燃料 第一開発室	3	—	4	9
		燃料製造機器 試験室	0	—	2	13
		ウラン貯蔵庫	0	—	4	0
	プ ル ト ニ ウ ム 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	14	—	12	76
		プルトニウム燃料 第三開発室	4	—	13	152
	合 計		41	—	64	571

*¹ : A棟, 応用試験棟を含む。*² : 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。*³ : 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物貯蔵施設を含む。*⁴ : G棟, H棟, J棟, L棟, M棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

単位：件

施設		モニタリング の内容	廃棄物		搬出物		
			放射 性	非放射 性	放射 性物質	一般 物品	
9 月	安全管理部施設		0	—	0	17	
	再 処 理 技 術 開 発 部	C P F	5	—	5	71	
		B棟等* ¹	1	—	2	24	
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	3	—	3	49	
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設* ²	6	—	0	3	
		洗濯場* ³	3	—	2	28	
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設* ⁴	11	—	21	135	
		プルトニウム燃料 第一開発室	1	—	6	16	
		燃料製造機器 試験室	0	—	0	29	
		ウラン貯蔵庫	0	—	7	6	
	プ ル ト ニ ウ ム 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	3	—	12	70	
		プルトニウム燃料 第三開発室	7	—	16	126	
	合 計			40	—	74	574

*¹ : A棟, 応用試験棟を含む。*² : 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。*³ : 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物貯蔵施設を含む。*⁴ : G棟, H棟, J棟, L棟, M棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

3) その他

施設側の依頼に基づき実施したモニタリング件数は以下の表のとおりである。

単位：件

施設		モニタリングの内容	グローブ交換 作業等	フィルター 交換作業等	放射性物質 搬入等	その他	
7 月	安全管理部施設		—	0	1	11	
	再 処 理 技 術 開 発 部	C P F	0	0	0	11	
		B棟等*1	7	0	0	3	
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	2	0	2	
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設*2	—	0	0	0	
		洗濯場*3	—	0	0	0	
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設*4	—	2	0	17	
		プルトニウム燃料 第一開発室	99	9	1	2	
		燃料製造機器 試験室	—	0	0	0	
		ウラン貯蔵庫	—	0	0	0	
	プ ル ト ニ ウ ム 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	119	3	2	1	
		プルトニウム燃料 第三開発室	0	0	1	1	
	合 計			225	16	5	48

*1 : A棟, 応用試験棟を含む。

*2 : 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。

*3 : 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物貯蔵施設を含む。

*4 : G棟, H棟, J棟, L棟, M棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

単位：件

施設		モニタリングの内容	グローブ交換 作業等	フィルター 交換作業等	放射性物質 搬入等	その他	
8 月	安全管理部施設		—————	0	3	0	
	再 処 理 技 術 開 発 部	C P F	1	0	0	3	
		B 棟 等*1	0	0	0	0	
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	2	0	0	
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設*2	—————	0	0	0	
		洗濯場*3	—————	0	0	0	
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設*4	—————	1	0	34	
		プルトニウム燃料 第一開発室	1	0	0	11	
		燃料製造機器 試験室	—————	0	0	0	
		ウラン貯蔵庫	—————	0	0	0	
	プ ル ト ニ ウ ム 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	28	0	0	10	
		プルトニウム燃料 第三開発室	0	0	0	1	
	合 計			30	3	3	59

*1：A棟，応用試験棟を含む。

*2：屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。

*3：焼却場，中央廃水処理場，第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫，ウラン系廃棄物貯蔵施設を含む。

*4：G棟，H棟，J棟，L棟，M棟，第2ウラン貯蔵庫，廃水処理，廃油保管庫を含む。

単位：件

施設		モニタリングの内容	グローブ交換作業等	フィルター交換作業等	放射性物質搬入等	その他	
9月	安全管理部施設		—	0	4	0	
	再処理技術開発部	C P F	0	0	0	0	
		B棟等*1	0	0	0	0	
	環境施設部	プルトニウム廃棄物処理開発施設	0	0	0	0	
		プルトニウム廃棄物貯蔵施設*2	—	0	0	0	
		洗濯場*3	—	0	0	0	
	核燃料技術開発部	ウラン濃縮施設*4	—	0	0	0	
		プルトニウム燃料第一開発室	16	0	0	7	
		燃料製造機器試験室	—	0	0	0	
		ウラン貯蔵庫	—	0	2	0	
	プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料第二開発室	61	3	0	10	
		プルトニウム燃料第三開発室	0	31	0	1	
	合計			77	34	6	18

*1：A棟，応用試験棟を含む。

*2：屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。

*3：焼却場，中央廃水処理場，第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫，ウラン系廃棄物貯蔵施設を含む。

*4：G棟，H棟，J棟，L棟，M棟，第2ウラン貯蔵庫，廃水処理，廃油保管庫を含む。

3.2 放射線管理第二課所掌施設

3.2.1 放射線管理業務概要

再処理工場では、機器等の保守点検が実施された後、9月21日より94-2キャンベーンが行われた。環境施設では、機器等の保守点検、低放射性廃液の処理運転及び固体廃棄物の受入れ貯蔵管理が行われた。また、9月2日にガラス固化技術開発施設の管理区域が設定された。転換施設では工程内機器の更新工事、クリプトン施設では、機器等の保守点検及び開発運転が行われた。

この間の定常放射線管理の結果、分析所G104において線量当量率が上昇し、立入規制区域が設定された。また、転換施設A126の空气中放射性物質濃度管理において、9月29日から10月6日の週に空气中放射性物質濃度が一時的に上昇したが、これは10月4日にグローブボックスのグローブに亀裂が生じたために発生したものである。その他については、保安規定等の基準を超えることはなかった。また、非定常の放射線作業は、特殊放射線作業172件が実施されたが、保安規定等の基準値を超えることはなかった。

一方、排気の監視結果についても保安規定等の基準値を超えることはなかった。

3.2.2 放射線作業計画等の実施状況

(1/9)

施設・部屋名	件名	実施期間
再処理工場 (7月～8月)	特殊放射線作業 …………… (71件)	
CB G104.G105.G108	気送管更新工事	6/30～7/21
MP A348	スターラ交換作業 (273R101)	7/1
MP A343.A347.A359.A443	H/A気送管更新工事	7/1～8/5
CB A114	分析セルライン用高放射性廃棄物容器の除染作業	7/4～7/8
MP G146.G346.A356.A568	セル内1tホイスト交換作業	7/5～9/13
MP A0110	パネルハウス更新	7/6～7/22
CB G144	小型試験設備マニプレータの交換作業	7/7～8/10
MP A359	245F121.F122フィルタ交換作業	7/11
IF A305	焼却炉廃棄物投入口の点検・補修 (第2回)	7/11～7/13
AAF R123.A191	R123内バルブ点検	7/11～7/14
HAW A121.A122	サンドリオン輸送作業	7/11～7/15
AAF A124.A191	321H30.H31の除染・点検作業	7/11～7/18
MP G146.G346	MSマニプレータの保守作業	7/11～8/31
MP A348	243F13の交換作業	7/12～7/13
HAW A421	電磁弁の交換作業	7/12～7/15
CB A114.A146	グローブボックスの解体	7/13～8/24
MP R105D.A143	セル (R105D) 内点検作業	7/18～7/21
MP R125B.A124.A143	Pu蒸発缶 (266E20.T21) の点検	7/18～7/29
CB G123.G142	分析所グローブボックス排気用フレキシブルチューブの交換作業	7/19～7/25
MP A686	真空ライン及び真空ポット (A686) の除染作業	7/20～7/21
AAF R074.A191	移送ポンプ室 (R074) 内ドリップトレイの補修	7/20～8/31
MP G146	G146インサートプラグ交換	7/21
MP A143	PC1ポンプ (271P311) 交換作業	7/22～7/25

(2 / 9)

施設・部屋名	件名	実施期間
MP R0151.A0110	イオン交換塔線量等量率測定及び樹脂のサンプリング	7 / 22 ~ 7 / 27
AAF A141.A142.A143	低放射性可燃袋の仕分け作業	7 / 22 ~ 9 / 30
AAF A191	蒸発缶セル内ドレン水のサンプリング	7 / 25
E R-1.A-1	E施設蒸発缶セル(R-1)内点検作業	7 / 25
MP A121.A143.A247	酸回収精留塔(273T40)内部点検作業	7 / 25 ~ 9 / 8
MP R111.A348	弁操作セル(R111)内点検作業	7 / 25 ~ 8 / 2
IF A405.A403	F58フィルター交換作業	7 / 26 ~ 7 / 27
MP A343	サンプリングベンチNo-10インナーボックス窓交換	7 / 26 ~ 8 / 31
MP A680.A682.A684.A686	真空系電磁弁の交換作業	7 / 26 ~ 8 / 31
MP A258	R220点検・補修	7 / 27 ~ 8 / 5
CB G116.G122	グローブボックス用排水ポットの更新作業	7 / 28 ~ 8 / 26
MP G146.G346	せん断機排気フィルタ及びR0153監視ITVの点検	7 / 28 ~ 8 / 29
CB G104.G105	分析所セルライン用排気ラインの更新作業	7 / 28 ~ 9 / 9
IF A105.A102	No.2スライドダンパー(X184)交換作業	8 / 1 ~ 8 / 3
MP A122.A143	264P101ポンプの補修	8 / 1 ~ 8 / 4
MP R105D.A143	セル(R105D)内点検	8 / 2 ~ 8 / 5
MP R026.A043	243J201の点検	8 / 2 ~ 8 / 9
AAF R121.A191	R121内機器の点検	8 / 4 ~ 8 / 5
MP A348	抽出器内部点検	8 / 4 ~ 8 / 29
MP A011	264P611点検補修	8 / 8 ~ 8 / 10
AAF R220.A191	R220内機器の点検	8 / 9
MP A148.A143	亜硝酸ガス発生塔(265T10)下部への除染作業	8 / 9 ~ 8 / 11
Z R120.A107.A108	Z施設蒸発缶セル(R120)内点検	8 / 17 ~ 8 / 19
IF A108	高温フィルタアスベストろ材の抜き出し作業	8 / 19 ~ 8 / 24

施設・部屋名	件名	実施期間
MP G146	ペリスコープ挿入・抜き出し作業	8 / 19 ~ 9 / 8
MP A322	フィルタ (264F121) の交換	8 / 22 ~ 8 / 23
MP A644. G544	電解槽 (201×71.72. P705) 点検作業	8 / 22 ~ 8 / 26
AAF A142	341W703の点検	8 / 22 ~ 9 / 2
CB A114. G107. G108	気送管細断及び排気フィルター交換作業	8 / 22 ~ 9 / 12
MP R0101. A1161. G1124	水中ガスケット交換	8 / 23 ~ 8 / 25
DN A013. A015	263-P321補修作業	8 / 23 ~ 8 / 25
HAW A123	しゃへい体 (81230) 内HAW配管の接続工事	8 / 23 ~ 9 / 29
AAF R075. A091	R075内ポンプ点検	8 / 24 ~ 8 / 25
MP R125B. A124	熱電対 (266TR20.3) の交換作業	8 / 25
CB G105. G107. G109	高放射性分析室 (G105) 及び中放射性分析室 (G107) のフレキシブルチューブ交換作業	8 / 25 ~ 9 / 16
MP A046	濃縮ウラン溶解セル (R001. R002. R003) 内点検	8 / 29 ~ 9 / 1
MP R026. A043	243J201の点検 (Part-2)	8 / 29 ~ 9 / 2
MP R020. A143	酸回収セル (R020) バルジ内点検・補修作業	8 / 30 ~ 9 / 1
MP A348	給液調整セル (R006) 内の観察点検作業	8 / 30 ~ 9 / 5
MP A682	真空フィルタの交換作業	8 / 30 ~ 9 / 5
CB G144	小型試験設備マニプレータのブーツ交換作業	8 / 31 ~ 9 / 1
CB G107. G115. G124. G128	分析所グローブボックス排気用フレキシブルチューブの交換作業	8 / 31 ~ 9 / 5
AAF A191	R070~R072内ポンプ点検	9 / 1 ~ 9 / 2
MP A343	サンプリングベンチNo.1.3.4.6ブーツ交換	9 / 1 ~ 9 / 14
MP R028. A043	R028内部点検及び275W422補修作業	9 / 2 ~ 9 / 7
AAF A124. A191	321H30. H31の健全性確認作業	9 / 5 ~ 9 / 7
AAF R073. A191	移送ポンプセル (R073) 内の除染作業	9 / 5 ~ 9 / 9
MP A348	パルスフィルタ (243F16) 交換作業	9 / 13 ~ 9 / 14

(4/9)

施設・部屋名	件名	実施期間
再処理工場 (9月～)	S1 作業 …………… (0件)	
	S2 作業 …………… (6件)	
MP R105D.A143	アムリバルブ交換作業	9/12～9/13
CB G104	高放射性試料分析セルラインの整備作業	9/13
MP A143	243×18弁駆動用ロッド及びR131インサートの切断作業	9/19～9/20
AAF R073.A191	317-P11 (PC-3) ポンプの交換作業	9/19～9/26
CB A114	分析セルライン用高放射性廃棄物容器の除染作業	9/19～9/30
IF A108	高温フィルタアスベストろ材の抜き出し作業	9/20～9/22
	A1 作業 …………… (10件)	
MP A348	スターラ交換作業 (256R13)	9/5～9/6
MP A0110.G1124	二次容器吊具の点検	9/8～9/12
MP A359	245F121, F122交換作業	9/9
MP A644	排気ブロワの点検整備 (207K20)	9/9～9/15
MP A148	パネルハウスの製作及び付帯設備の設置	9/9～9/28
MP A322	脱硝塔, 詰まり除去・治具交換	9/13
MP R0101.G1124	水中扉ガasket交換	9/14～9/21
MP A355.A356	A356パネルハウス物品搬入作業	9/19～9/30
MP A348	中央保守区域 (A348) バルブ操作室の点検作業	9/20～9/21
IF A403.A405	F58フィルタ交換作業	9/26～9/27
	A2 作業 …………… (27件)	
MP. AAF. IF. E. Z	前処理課受入貯蔵工程の運転及び保守・点検業務	9/2～継続
MP. AAF. E. Z	前処理課機械処理工程の運転及び保守・点検業務	9/2～継続
MP	化学処理第一課の運転業務	9/2～継続
MP. AAF. CB	化学処理第一課の点検・保守業務	9/2～継続
MP. DN. HAW. U03	化学処理第二課の運転業務	9/2～継続

(5/9)

施設・部屋名	件名	実施期間
MP. DN HAW. DS. UO3. AAF	化学処理第二課の点検・保守業務	9/2～継続
AAF. IF. E. Z. C. LW. LW2. WS	低放射性廃棄物処理施設の保守・点検業務	9/2～継続
AAF. IF. E. Z. C. LW. LW2. WS	低放射性廃棄物処理施設の運転業務	9/2～継続
CB	分析施設の運転業務	9/2～継続
CB	分析施設の保守点検等の業務	9/2～継続
MP. AAF. HAW. DN 他 再処理工場全施設	計装設備の保全作業	9/2～継続
MP. CB. HAW. DN. DS. AAF 他	電気設備の点検作業	9/2～継続
CB. DS. MP. AAF. Z. LW2. WS C. DN. HAW. E. IF. 2UO3 3UO3	保守点検関連業務	9/2～継続
MP. CB. HAW. DN. DS. AAF 他	安全巡視	9/2～継続
MP. CB. AAF 等	宮繕・工事作業	9/2～継続
MP. CB. AAF. HAW 他	再処理工場換気・ユーティリティ設備等の運転管理	9/2～継続
MP. CB. AAF. HAW 他	再処理工場換気・ユーティリティ設備等の保守管理	9/2～継続
MP. CB. AAF. HAW 他	再処理工場空気吸引装置（エアスニッファ）の運転管理	9/2～継続
MP. CB. AAF. HAW 他	再処理工場空気吸引装置（エアスニッファ）の保守管理	9/2～継続
MP. DN. UO3. 2UO3. 3UO3	査察及び査察対応	9/2～継続
MP等全建屋	現場巡視	9/2～継続
MP等全建屋	来客対応	9/2～継続
MP等全建屋	清掃作業	9/2～継続
MP. CB. AAF 他	再処理工場の放射線管理用機器の保守及び校正業務	9/2～継続
MP. CB. AAF. DN 他	再処理工場の放射線管理業務	9/2～継続
MP等全建屋	消火器・消火栓の点検	9/19～継続

(6/9)

施設・部屋名	件名	実施期間
MP. DN. HAW. DS. CB. AAF. B Z. C. LW2. WS. IF	バルブ等の保全作業	9/20～継続
環境施設部 (7月～8月)	特殊放射線作業 (16件)	
ST R120	R120点検・保守作業	7/13～7/20
2ASP-ST R053. G013	サンプル採取装置の点検・修理	7/18～7/22
ASP R122. R152. A121	セル内機器点検・清掃	7/21～8/2
2ASP-ST R050. R150. A019	FHM (フレーム・ハンドリング・マニプレータ) 年次点検	7/26～8/11
ASP A131. A133	M602保守・点検	7/29～8/9
ST R002. R003. R007. A008 A013	供用期間中の検査	8/17～8/18
ASP R056. R151. A133	供用期間中の検査	8/22～8/23
ST R020. A010	R020バルブ点検作業	8/22～8/25
2ASP-ST R053. G013	サンプラー受け台取付け作業等	8/22～8/26
ASP A130. A331. A334	PH計の点検	8/24～9/2
ASP A131. A133	E40・スクリュシャフトシール保守点検	8/24～9/13
ASP R152. A121	ターンテーブル (M123) 保守・点検	8/24～9/16
2HASWS R050. A102	第2 HASWS・R050セル内からの分析試料取出し作業	8/29～8/30
ST R051. R053. R054. R055 R057	ポンプセル内点検作業	9/1～9/9
ASP R052. R152. R252 その他	ITV台車の保守点検	9/5～9/14
ASP R055. A038	E42残渣ポット整理及び供用期間中の写真撮影	9/6
環境施設部 (9月～)	S1 作業 (0件)	
	S2 作業 (3件)	
HASWS A333	HASWS・R031付着物サンプリング作業	9/12～9/13
ST R020. A010	R020内現場調査	9/13

施設・部屋名	件名	実施期間
TVF R101.A117	遠隔保守用治工具及び密封線源 (^{60}Co) の搬入 A 1 作業 (0件) A 2 作業 (12件)	9/27~継続
ST	S T施設の運転関連業務	9/2~継続
ST	S T施設の保守点検関連業務	9/2~継続
2ASP-ST	固化体評価試験設備の点検・保守業務	9/2~継続
2ASP-ST	固化体評価試験設備の運転業務	9/2~継続
ASP	アスファルト固化技術開発施設の運転及び保守業務	9/2~継続
HASWS. 2HASWS 他	再処理施設環境施設の運転・保守業務	9/2~継続
環境施設所掌再処理施設	環境施設所掌再処理施設の保守等業務	9/2~継続
ASP. ASP-ST. 2ASP-ST 他	環境施設に係わる放射線管理用機器の保守及び校正業務	9/2~継続
ASP. ASP-ST. ST 他	環境施設の放射線管理業務	9/2~継続
TVF A018	ドリップトレイ (G04V006) のサンプリング	9/19~9/20
TVF アンバー全域	TVFの核物質防護設備の総合点検	9/21~9/22
TVF A018. A112	単腕マニプレータROM交換	9/30~継続
環境技術開発部 (7月~8月)	特殊放射線作業 (2件)	
Kr R002. R005. R017. R101	高圧ガス保安検査及び機器点検	7/6~7/28
Kr R002. R005. R052A, B R101	再処理施設定期検査及び機器点検	8/3~9/22
環境技術開発部 (9月~)	S 1 作業 (0件) S 2 作業 (0件) A 1 作業 (0件) A 2 作業 (5件)	
Kr	クリプトン施設の運転及び保守業務	9/2~継続

(8/9)

施設・部屋名	件名	実施期間
Kr	換気設備、電気・計装設備の日常管理	9/2～継続
Kr	クリプトン施設に係わる放射線管理用機器の保守及び校正業務	9/2～継続
Kr	クリプトン施設の放射線管理業務	9/2～継続
Kr	クリプトン施設の運転及び保守業務	9/19～継続
プルトニウム燃料工場 (7月～8月)	特殊放射線作業 …………… (16件)	
Pu-CON A224	工程計算機の更新工事	7/1～継続
Pu-CON 施設全域	培焼還元炉廃気配管設置工事	7/1～7/15
Pu-CON A223. A225	培焼還元工程設備の据付け(その3)	7/1～7/19
Pu-CON A126. A224. A324	真空工程の更新工事(その2)	7/1～継続
Pu-CON A126	中間貯蔵工程内設備の撤去・据付け、グローブボックスパネルの漏洩試験	7/1～7/18
Pu-CON A029. A128. A129	廃液蒸発缶の撤去・据付け(その2)	7/1～7/22
Pu-CON 施設全域	プルトニウム転換施設の運転	7/1～9/1
Pu-CON アンバー区域全域	プルトニウム転換施設の放射線管理業務	7/1～9/1
Pu-CON アンバー区域全域	プルトニウム転換技術開発施設の放射線管理機器の保守及び校正	7/1～9/1
Pu-CON A128	技術開発施設を使用して行う試験及び保守	7/1～9/1
Pu-CON A027. A030. A126 A227. G111	査察対応及び査察関連業務	7/1～9/1
Pu-CON A024. A022. A122 A126. A225	培焼還元炉及び関連設備の設置、据付け	7/16～9/30
Pu-CON A126. A128. A225	更新設備の切断及び復旧作業	7/18～9/30
Pu-CON アンバー区域全域	消火器・消火栓の定期点検作業	8/19～8/22
Pu-CON A128	特殊放射線作業環境中の放射性物質粒径測定	7/21～9/30
Pu-CON A026	入セル前の線量測定	8/23
プルトニウム燃料工場 (9月～)	S1 作業 …………… (0件)	

(9/9)

施設・部屋名	件名	実施期間
Pu-CON A026.R052.R055	S 2 作業 (1件) セル (R052.055) 内タンク等の点検	9 / 5 ~ 9 / 6
Pu-CON A129	A 1 作業 (2件) 廃液蒸発缶の試運転	9 / 12 ~ 継続
Pu-CON A227	発光分光分析装置の修理及び調整作業 A 2 作業 (5件)	9 / 8 ~ 9 / 14
Pu-CON 施設内全域	プルトニウム転換施設の運転	9 / 2 ~ 継続
Pu-CON A022.A122.A126	HBASによる校正作業	9 / 8 ~ 継続
Pu-CON アンバー区域全域	プルトニウム転換施設の放射線管理業務	9 / 2 ~ 継続
Pu-CON アンバー区域全域	プルトニウム転換技術開発施設の放射線管理機器 の保守及び校正	9 / 2 ~ 継続
Pu-CON A027.A030.A126 A227.G111	査察対応及び査察関連業務	9 / 2 ~ 継続

3.2.3 管理区域等の設定・解除

区 分	施 設 ・ 部 屋	期 間	
立入規制区域	C B G 1 0 4 G 1 0 5	設定	平成 6 年 4 年 28 日
		解除	平成 6 年 9 年 30 日
立入規制区域	M P A 6 8 6	設定	平成 6 年 6 月 15 日
		解除	平成 6 年 7 年 7 日
立入規制区域	C B G 1 0 4	設定	平成 6 年 6 年 28 日
		解除	平成 6 年 9 年 30 日
立入規制区域	C B G 1 0 5	設定	平成 6 年 6 月 28 日
		解除	平成 6 年 9 年 30 日
一時管理区域	T V F 配管トレンチ (T 2 1)	設定	平成 6 年 7 月 15 日
		解除	平成 6 年 7 年 15 日
立入規制区域	C B G 1 0 4	設定	平成 6 年 9 月 30 日
		解除	—

3.2.4 作業環境における放射線測定結果

1) 定常放射線モニタリング

(1) 外部放射線に係わる線量当量率

単位 $\left(\begin{array}{l} W : \mu\text{Sv/W} \\ G : \mu\text{Sv/h} \\ A : \mu\text{Sv/h} \end{array} \right)$

施設名	内 容		測 定 結 果									
			7 月			8 月			9 月			
			W	G	A	W	G	A	W	G	A	
再	MP	エリアモニタ	$\gamma \cdot n$		*	*		*	*		*	*
		サーベイメータ	$\gamma \cdot n$	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	DS	T L D	γ	*								
処	CB	エリアモニタ	γ		*	*		*	*		*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
理	AAF	エリアモニタ	γ		*	*		*	*		*	*
		サーベイメータ	γ		*	*		*	*		*	*
		T L D	γ	*								
工	Z	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
場	C	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
場	IF	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ		*	*		*	*		*	*
		T L D	γ	*								
場	DN	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ		*	*		*	*		*	*
		T L D	γ	*								

- 注) 1. W, G, Aは、再処理施設内のホワイト、グリーン、アンバー区域を示す。
 2. 管理レベル (W: 300 $\mu\text{Sv/W}$, G: 12.5 $\mu\text{Sv/h}$, A: 25 $\mu\text{Sv/h}$) を超えない区域については、*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。
 3. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

施設名	内容	測定結果										
		7月			8月			9月				
		W	G	A	W	G	A	W	G	A		
再 処 理 工 場	HAW	エリアモニタ	γ	/	/	*	/	/	*	/	/	*
		サーベイメータ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		T L D	γ	*								
	UO, 2UO, 3UO, WS LW ₂	エリアモニタ	γ	/	/	*	/	/	*	/	/	*
		サーベイメータ	γ	*	/	*	*	/	*	*	/	*
		T L D	γ	*								
環 境 施 設 部	ASP	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
	ASP-ST	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
	2ASP-ST	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
ST	エリアモニタ	γ	/	/	*	/	/	*	/	/	*	
	サーベイメータ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*	
	T L D	γ	*									
2HASWS	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*	
	サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	T L D	γ	*									

- 注) 1. W. G. Aは、再処理施設内のホワイト、グリーン、アンバー区域を示す。
 2. 管理レベル (W : 300 μ Sv/h、G : 12.5 μ Sv/h、A : 25 μ Sv/h) を超えない区域については、*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。
 3. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

施設名		内容		測定結果								
				7月			8月			9月		
				W	G	A	W	G	A	W	G	A
環境 施設 部	LASWS 2LASWS HASWS	サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
	TVF	エリアモニタ	γ	△	—	—	△	—	—	△	*	*
サーベイメータ		γ	—	—	—	—	—	—	*	*	*	
T L D		γ	—						*			
PU 工場	Pu-CON	エリアモニタ	γ・n	△	△	*	△	△	*	△	△	*
		サーベイメータ	γ・n	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								
環 開 部	Kr 術開発施設	エリアモニタ	γ	△	△	*	△	△	*	△	△	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*								

- 注) 1. W. G. Aは、再処理施設内のホワイト、グリーン、アンバー区域を示す。
 2. 管理レベル (W : 300 μSv/ℓ, G : 12.5 μSv/h, A : 25 μSv/h) を超えない区域については、*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。
 3. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

(2) 表面密度

施設名		内容		測定結果		
				7月	8月	9月
				Bq/cm ²	Bq/cm ²	Bq/cm ²
再 処 理 工 場 環 境 施 設 部	MP	スミヤ	α	*	*	*
	DS		$\beta(\gamma)$	*	*	*
	CB	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	AAF	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	Z	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	IF	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	DN	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	HAW	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	UO ₂ 、2UO ₂ 、 2UO ₃ 、 WS、LW、	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	ASP	スミヤ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
ASP-ST	スミヤ	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
2ASP-ST	スミヤ	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	

注) 1. 管理レベル ($\alpha : 4 \times 10^{-2}$ Bq/cm²、 $\beta(\gamma) : 4 \times 10^{-1}$ Bq/cm²) を超えない区域については、*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。

2. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

建 屋 名		内 容		測 定 結 果			
				7 月	8 月	9 月	
				Bq/cm ²	Bq/cm ²	Bq/cm ²	
環 境 施 設 部	S T	スミヤ	α	*	*	*	
			$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	2 H A S W S	スミヤ	α	*	*	*	
			$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	L A S W S 2 L A S W S H A S W S	スミヤ	α	*	*	*	
			$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	T V F	スミヤ	α	—	—	*	
			$\beta(\gamma)$	—	—	*	
	P U 工 場	P u - C O N	スミヤ	α	*	*	*
				$\beta(\gamma)$	*	*	*
環 開 部	K r	スミヤ	α	*	*	*	
			$\beta(\gamma)$	*	*	*	

- 注) 1. 管理レベル ($\alpha : 4 \times 10^{-3}$ Bq/cm²、 $\beta(\gamma) : 4 \times 10^{-1}$ Bq/cm²) を超えない区域については、*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。
 2. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

(3) 空气中放射性物質濃度

建 屋 名	内 容	測 定 結 果				
		7 月	8 月	9 月		
		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³		
再 処 理	MP	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	DS	ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		Puダスト	α	*	*	*
	工 場	CB	エアースニフア	α	*	*
$\beta(\gamma)$				*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		Puダスト	α	*	*	*
工 場		AAF	エアースニフア	α	*	*
	$\beta(\gamma)$			*	*	*
	E	ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
Z	エアースニフア	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
工 場	C	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*

注) 1. 管理レベル：一週間平均で (DAC) $\times 3 / 10$ Bq/cm³

α : 5分の1倍

$\beta\gamma$: 5分の1倍を超えない区域については*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。

2. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

建 屋 名		内 容		測 定 結 果		
				7 月	8 月	9 月
				Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
再 処 理 工 場	I F	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	D N	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	H A W	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
W S	エアースニフア	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
環 境 施 設 部	A S P	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	A S P - S T	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*

注) 1. 管理レベル：一週間平均で (DAC) × 3 / 10 Bq/cm³

α : 5分の1倍

$\beta\gamma$: 5分の1倍を超えない区域については*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。

2. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

建 屋 名		内 容		測 定 結 果		
				7 月	8 月	9 月
				Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
環 境 施 設 部	2ASP-ST	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	ST	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
2HASWS	エアースニフア	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	ダストモニタ	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
TVF	エアースニフア	α	—	—	*	
		$\beta(\gamma)$	—	—	*	
	ダストモニタ	α	—	—	*	
		$\beta(\gamma)$	—	—	*	
Pu 工 場	Pu-CON	エアースニフア	α	*	*	A126 1.2×10^{-4}
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	Puダスト	α	*	*	*	
環 開 部	Kr	エアースニフア	α	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*

注) 1. 管理レベル：一週間平均で (DAC) $\times 3 / 10$ Bq/cm³

α : 5分の1倍

$\beta\gamma$: 5分の1倍を超えない区域については*印を記入する。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入する。

2. 9月2日TVF施設の管理区域が設定された。

(4) 排気中の放射性物質監視測定

主排気筒排気中の放射性物質監視測定

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm ³)	期間放出量		
		7月	8月	9月		実測量 (GBq)	不検出量 (GBq)	
全α	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	1.3×10 ⁻⁴	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	5.2×10 ⁻⁵	4.1×10 ⁻⁵				4.1×10 ⁻⁵
全β・γ	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	1.3×10 ⁻³	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	5.2×10 ⁻⁴	4.1×10 ⁻⁴				4.1×10 ⁻⁴
¹³¹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	3.3×10 ⁻²	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	1.3×10 ⁻²	1.0×10 ⁻²				1.0×10 ⁻²
¹²⁹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)	5.7×10 ⁻⁸	5.7×10 ⁻⁸	1.4×10 ⁻⁷	5.4×10 ⁻⁸	4.3×10 ⁻²	5.1×10 ⁻³	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	4.7×10 ⁻⁸	4.8×10 ⁻⁸	7.1×10 ⁻⁸				
	放出量	実測量 (GBq)	1.3×10 ⁻²	1.3×10 ⁻²				1.7×10 ⁻²
		不検出量 (GBq)	2.6×10 ⁻³	0				2.5×10 ⁻³
¹⁴ C	最高濃度 (Bq/cm ³)	6.5×10 ⁻⁵	*	5.8×10 ⁻⁵	4.6×10 ⁻⁵	1.9×10	2.2×10	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	5.2×10 ⁻⁵	*	4.4×10 ⁻⁵				
	放出量	実測量 (GBq)	1.5×10	0				3.9
		不検出量 (GBq)	2.8	1.1×10				8.1
³ H	最高濃度 (Bq/cm ³)	1.2×10 ⁻³	7.7×10 ⁻⁴	8.1×10 ⁻⁴	7.6×10 ⁻⁴	6.7×10 ²	0	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	1.0×10 ⁻³	5.9×10 ⁻⁴	5.9×10 ⁻⁴				
	放出量	実測量 (GBq)	3.5×10 ²	1.6×10 ²				1.6×10 ²
		不検出量 (GBq)	0	0				0
⁸⁵ Kr	最高濃度 (Bq/cm ³)	1.6×10 ⁻²	3.1×10 ⁻³	9.3	6.9×10 ⁻¹	6.1×10 ⁵	1.7×10 ³	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	3.9×10 ⁻³	2.4×10 ⁻³	2.1				
	放出量	実測量 (GBq)	6.2×10 ²	9.1				6.1×10 ⁶
		不検出量 (GBq)	5.7×10 ²	7.2×10 ²				4.4×10 ²

(注) *印は検出限界未満を表す。 検出限界 全α : 1.5×10⁻¹⁰Bq/cm³ 全β・γ : 1.5×10⁻⁹Bq/cm³ ¹³¹I : 3.7×10⁻⁸Bq/cm³
¹²⁹I : 3.7×10⁻⁸Bq/cm³ ¹⁴C : 4.0×10⁻⁵Bq/cm³ ³H : 3.7×10⁻⁵Bq/cm³ ⁸⁵Kr : 2.4×10⁻³Bq/cm³

第1付属排気筒排気中の放射性物質監視測定

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm ³)	期間放出量		
		7月	8月	9月		実測量 (GBq)	不検出量 (GBq)	
全α	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	4.2×10 ⁻⁵	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	1.6×10 ⁻⁵	1.3×10 ⁻⁵				1.3×10 ⁻⁵
全β・γ	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	4.2×10 ⁻⁴	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	1.6×10 ⁻⁴	1.3×10 ⁻⁴				1.3×10 ⁻⁴
¹³¹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	1.1×10 ⁻²	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	4.1×10 ⁻³	3.3×10 ⁻³				3.3×10 ⁻³
¹²⁹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	1.1×10 ⁻²	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	4.1×10 ⁻³	3.3×10 ⁻³				3.3×10 ⁻³
¹⁴ C	最高濃度 (Bq/cm ³)	7.3×10 ⁻⁴	*	9.5×10 ⁻⁴	1.8×10 ⁻⁴	4.5×10	8.0	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	2.5×10 ⁻⁴	*	2.5×10 ⁻⁴				
	放出量	実測量 (GBq)	2.4×10	0				2.1×10
		不検出量 (GBq)	2.6	3.5				1.9
³ H	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	1.1×10	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	4.1	3.3				3.3
⁸⁵ Kr	最高濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*	*	0	6.8×10 ²	
	平均濃度 (Bq/cm ³)	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量 (GBq)	2.3×10 ²	2.3×10 ²				2.2×10 ²

(注) *印は検出限界未満を表す。 検出限界 全α : 1.5×10⁻¹⁰Bq/cm³ 全β・γ : 1.5×10⁻⁹Bq/cm³ ¹³¹I : 3.7×10⁻⁸Bq/cm³
¹²⁹I : 3.7×10⁻⁸Bq/cm³ ¹⁴C : 4.0×10⁻⁵Bq/cm³ ³H : 3.7×10⁻⁵Bq/cm³ ⁸⁵Kr : 2.4×10⁻³Bq/cm³

第2 付属排気筒排気中の放射性物質監視測定

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm ³)	期間放出量		
		7月	8月	9月		実測量 (GBq)	不検出量 (GBq)	
全α	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	1.2×10 ⁻⁵	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						1.2×10 ⁻⁵
全β・γ	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	1.2×10 ⁻⁴	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						1.2×10 ⁻⁴
¹³¹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	2.9×10 ⁻³	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						2.9×10 ⁻³
¹²⁹ I	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	2.9×10 ⁻³	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						2.9×10 ⁻³
¹⁴ C	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	3.2	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						3.2
³ H	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	2.9	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						2.9
⁸⁵ Kr	最高濃度 (Bq/cm ³)			*	*	0	2.0×10 ²	
	平均濃度 (Bq/cm ³)			*				
	放出量	実測量 (GBq)						0
		不検出量 (GBq)						2.0×10 ²

(注) *印は検出限界未満を表す。 検出限界 全α : 1.5×10⁻¹⁰Bq/cm³ 全β・γ : 1.5×10⁻⁹Bq/cm³ ¹³¹I : 3.7×10⁻⁸Bq/cm³
¹²⁹I : 3.7×10⁻⁸Bq/cm³ ¹⁴C : 4.0×10⁻⁵Bq/cm³ ³H : 3.7×10⁻⁵Bq/cm³ ⁸⁵Kr : 2.4×10⁻³Bq/cm³

(5) 飲料水中放射性物質濃度測定

施設名	測定線種	測定結果			備考	
		7月	8月	9月		
		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³		
再 処 理 工 場	MP	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	DS	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	CB	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	AAF	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	Z	α	—	—	—	
		$\beta(\gamma)$	—	—	—	
	C	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	DN	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
環 境 施 設 部	ASP	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	ASP-ST	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
	2ASP-ST	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
Pu 工場	Pu-CON	α	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	

注) 1. 管理レベル ($\alpha : 1 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ 、 $\beta(\gamma) : 3 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$) を超えない区域については、*印を記入する。また、超えた場合には、最大値及び場所を記入する。

注) 2. Z施設については6月20日よりC施設との渡り廊下開設に伴い、休憩室の一時解除のため飲水設備停止により採取せず。

2) 非定常作業（立会いサーベイ等）

項 目	件 数			
	7月	8月	9月	計
グローブ交換後のサーベイ等	93	91	82	266
フィルター交換後のサーベイ等	2	0	0	2
核物質入荷・開梱等に伴うもの	1	7	2	10
HZキャスク搬出入時のサーベイ等	4	10	2	16
計	100	108	86	294

3) 搬出物品等に対する放射線管理

区 分		件 数			
		7月	8月	9月	計
一 般 物 品		512	479	520	1,511
放射線物質（カスク等）		163	57	189	409
廃棄物	非 放 射 性	395	414	722	1,531
	放 射 性 （含仕分け済ドラム缶）	1,221	1,653	1,905	4,779
計		2,291	2,603	3,336	8,230

3.2.5 被ばく，汚染サーベイ報告

件名	発生日	発生場所	概要	汚染核種	汚染状況	原因	処置等
該当なし							

3.3 放射線管理用機器の管理

放射線管理用機器が正常に稼働するよう機器の整備，検査等を実施した。また，放射線管理用機器等の整備等に必要な主な設備の維持管理も合わせて実施した。

今期実施した業務の主な内容は以下のとおりである。

3.3.1 放射線管理用機器の整備及び検査

放射線管理用機器の整備及び検査のうち，定期自主検査の実施状況を，表3-1-①及び表3-1-②に，修理校正の実施状況を，表3-2に示す。

3.3.2 主な設備の管理

放射線管理用機器等を整備するために必要な設備のうち，照射装置の使用状況を，図-2に示す。また，校正施設の稼働状況を表3-3に示す。

表 3 - 1 - ① 定期自主検査実施状況（定置式モニタ設備類）

		定期自主検査						
		性能検査（件）			回路試験 （件）	総合検査 （件）	校正 （件）	合計 （件）
		7月	8月	9月				
安全管理部施設					70	7	7	84
再処理施設		2	2	2	222	137	137	502
核燃料部 技術施設	プルトニウム燃料 第一開発室				21	4	4	29
	ウラン 濃縮施設				3	5	5	13
再処 理開 発技 術施 設	B棟				0	1	1	2
	C P F				59	37	37	133
	その他 応用試験棟				0	2	2	4
プルト ニウ ム燃 料工 場	プルトニウム燃料 第二開発室				50	26	26	102
	プルトニウム燃料 第三開発室				116	14	14	144
環境 施設 部 施 設	プルトニウム廃棄 物貯蔵施設				2	2	2	6
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設				3	17	17	37
	ウラン廃棄 物廃棄施設				0	1	1	2
核燃料サイクル 工学研修室					0	0	0	0
総務課 （PR館）					0	0	0	0
労務課 （健康管理室）					0	0	0	0
合計		2	2	2	546	253	253	1,058

* 放射線管理用機器の設置分類は、再処理施設及び核燃料物質使用施設保安規定により施設分類を行っている。

表 3 - 1 - ② 定期自主検査実施状況（放射線測定器類）

		定期自主検査		
		総合検査 (件)	校正 (件)	合計 (件)
安全管理部施設		92	92	184
再処理施設		198	198	396
核燃料 開発部 技術施設	プルトニウム燃料 第一開発室	106	106	212
	ウラン 濃縮施設	49	49	98
再処 理開 発部 技術 施設	B棟	15	15	30
	C P F	58	58	116
	その他 応用試験棟	20	20	40
プルト ニウム 燃料工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	75	75	150
	プルトニウム燃料 第三開発室	36	36	72
環境 施設 部 施設	プルトニウム廃棄 物貯蔵施設	4	4	8
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	80	80	160
	ウラン廃棄 物廃棄施設	23	23	46
核燃料サイクル 工学研修室		51	51	102
総務課 (PR館)		0	0	0
労務課 (健康管理室)		9	9	18
合計		816	816	1,632

* 放射線管理用機器の設置分類は、再処理施設及び核燃料物質使用施設保安規定により施設分類を行っている。

表 3 - 2 修理校正実施状況

分類	測定機器名	修理件数(件)			校正件数(件)			計
		7月	8月	9月	7月	8月	9月	
定置式モニタ類	ガンマ線エリアモニタ	1	0	0	0	0	6	7
	中性子線エリアモニタ	0	0	2	0	0	0	2
	アルファ線用空気モニタ	0	0	0	0	0	0	0
	ベータ線ダストモニタ	3	3	1	0	0	7	14
	プルトニウムダストモニタ	3	2	0	0	0	0	5
	排気モニタ	4	3	6	0	0	3	16
	臨界警報装置	0	2	1	0	0	0	3
出入管理モニタ	アルファ線用H・F・Cモニタ	24	25	36	1	0	1	87
	ベータ・ガンマ線用H・F・Cモニタ	3	9	7	0	0	1	20
	アルファ線用フットモニタ	13	13	8	0	0	0	34
	ゲートモニタ	1	0	3	0	0	0	4
サーベイメータ類	アルファ線用サーベイメータ	63	74	95	11	0	0	243
	GM管式サーベイメータ	4	13	4	0	0	0	21
	電離箱式サーベイメータ	3	11	2	8	0	3	27
	遠隔操作型ガンマ線用サーベイメータ	2	0	2	0	0	0	4
	中性子線用サーベイメータ	0	1	0	0	1	0	2
	ガンマ線用サーベイメータ	0	0	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	個人被ばく線量計	0	0	0	2	0	0	2
放射能測定装置類	放射能測定装置	8	3	5	0	0	0	16
	空気試料測定装置	0	2	1	0	0	0	3
	多重波高分析器	0	0	0	0	0	0	0
	振動容量電位計	0	0	0	0	0	0	0
	ガスモニタ	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	5	0	0	6
移動式モニタ類	アルファ線用空気モニタ	0	0	0	0	8	0	8
	ベータ・ガンマ線用空気モニタ	0	1	0	0	0	0	1
	可搬型測定装置	1	0	0	2	1	3	7
	その他	0	0	2	0	0	0	2
環境監視モニタ類	モニタリングステーション	0	0	1	7	0	0	8
	モニタリングポスト	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	パネル・デスク類	0	0	0	0	0	0	0
	記録計	0	0	0	0	0	0	0
	単体機器	2	0	0	0	0	0	2
	合 計	135	162	177	36	11	24	545

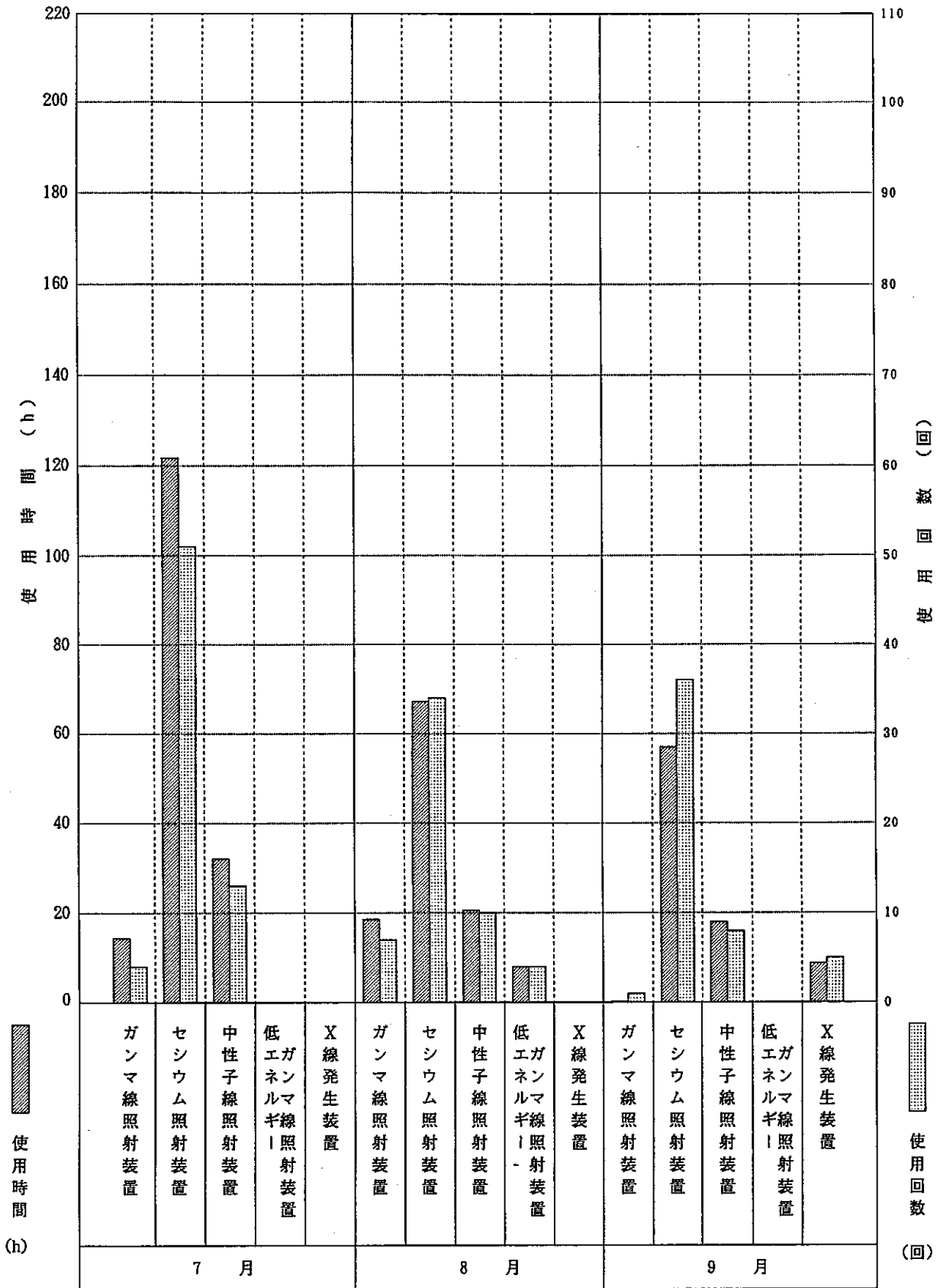


図-2 校正施設照射設備の使用状況

表 3 - 3 校正施設稼働状況

使用箇所 室区分	7 月			8 月			9 月		
	照射室	照射室	低レベル	照射室	照射室	低レベル	照射室	照射室	低レベル
	A	B	照射室	A	B	照射室	A	B	照射室
放射線管理第一課	49	15	24	32	19	12	39	8	0
放射線管理第二課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安全対策課	2	2	0	2	2	0	2	1	0
環境安全課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位：使用目的別の回数（但し、同じ使用目的で1日使用した場合は半日の使用につき1回とする）

3.4 マスクマンテスト実施状況

前期に引き続き、再処理工場・プルトニウム燃料工場・核燃料技術開発部等施設の作業従事者等に対して、半面マスク・全面マスク着用時の漏れ率測定（マスクマンテスト）を実施した。実施状況を下記の表3-4-1に示す。

表3-4-1 マスクマンテスト実施一覧表

単位：人

施設名	マスクの種類	7月		8月		9月		合計	
		半面	全面	半面	全面	半面	全面	半面	全面
安全管理部	テスト者数	13	0	6	0	7	0	26	0
	合格者数	13	0	6	0	7	0	26	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
建設工務管理室	テスト者数	0	0	0	0	0	0	0	0
	合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
研究施設管理課	テスト者数	14	5	0	0	7	0	21	5
	合格者数	14	5	0	0	7	0	21	5
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
核燃料技術開発部	テスト者数	5	0	2	0	2	0	9	0
	合格者数	5	0	2	0	2	0	9	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
再処理技術開発部	テスト者数	3	0	1	0	6	0	10	0
	合格者数	3	0	1	0	6	0	10	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
環境技術開発部	テスト者数	1	0	11	0	6	0	18	0
	合格者数	1	0	11	0	6	0	18	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
再処理工場	テスト者数	148	0	31	0	49	0	228	0
	合格者数	148	0	31	0	49	0	228	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
プルトニウム燃料工場	テスト者数	181	0	115	0	119	0	415	0
	合格者数	181	0	115	0	119	0	415	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
環境施設部	テスト者数	64	0	132	0	25	0	221	0
	合格者数	64	0	132	0	25	0	221	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	テスト者数	429	5	298	0	221	0	948	5
	合格者数	429	5	298	0	221	0	948	5
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 環 境 安 全

環境監視業務としては、再処理施設保安規定に基づく環境監視計画、茨城県環境放射線監視計画等に基づく①試料の採取及び前処理、②環境放射線の測定、③環境試料の放射化学分析及びGe半導体検出器を用いた機器分析測定、④「せいかい」による海洋調査、⑤気象観測、⑥環境監視データ処理等を実施するとともに、事業所内外からの依頼分析、JNFLからの受託分析等を行った。

放出放射能監視業務として、①再処理施設保安規定及び放射線障害予防規定に基づく再処理施設からの放射性排水の放出可否判定分析、②核燃料物質使用施設保安規定、放射線障害予防規定及び放射線保安規則に基づく各施設からの放射性排水の放出可否判定分析、③水質汚濁防止法及び茨城県公害防止条例に基づく一般公害物質の監視分析、④科学技術庁水戸原子力事務所及び茨城県公害技術センターによる立入りサンプリング並びにこれらの分析等を行った。

さらに、内部被ばく管理のためのバイオアッセイを実施した。

4.1 環境監視業務

4.1.1 試料採取及び前処理

7月～9月に実施した定常の陸上環境試料及び海洋環境試料の採取及び前処理の状況は表4-1及び表4-2に示すとおりであった。但し、表中にある区分の国は再処理施設保安規定に基づく環境監視結果報告、県は茨城県環境放射能測定データ報告を意味する。

表 4 - 1 陸上環境試料の採取

測定対象		区 域	採取点数	採 取 地 点	区 分	採 取 日	備 考	
空間放射線	線量率	周辺監視区域内 周辺監視区域外	9点 3点	モニタリングポスト 7基 モニタリングステーション 5基	国・県 国・県	連 続		
	積算線量	周辺監視区域内 周辺監視区域外	15点 25点	モニタリングポスト (TLD使用)	国・県 国・県	1回/3カ月		
空	浮遊じん	周辺監視区域内 周辺監視区域外	3点 4点	モニタリングステーション 4基 県公害技術センター他 2点	国・県 国	1回/週 1回/3カ月		
	ヨウ素	周辺監視区域内 周辺監視区域外	1点 3点	モニタリングステーション	国 国	1回/週		
気	気体状β放射能濃度	周辺監視区域内 周辺監視区域外	1点 3点	モニタリングステーション	国 国	連 続		
	水分	周辺監視区域外	2点	モニタリングステーション	国	1回/1カ月		
雨	水	周辺監視区域内	1点	安全管理棟屋上	国	1回/1カ月		
降下じん		周辺監視区域内	1点	安全管理棟屋上	国	1回/1カ月		
飲料水		周辺監視区域内	1点	安全管理棟	国	7/1		
		周辺監視区域外	3点	東海村照沼 勝田市長砂 西約10km地	国 国 国	7/1 7/1 7/1		
葉	菜	周辺監視区域外	3点	東海村照沼 勝田市長砂 西約10km地	国・県 国	7/7 7/27 7/7	キャベツ キャベツ キャベツ	
精	米	周辺監視区域外	3点	東海村照沼 勝田市長砂 西約10km地	国・県 国	_____ _____ _____		
牛	乳	周辺監視区域外	3点	東海村船場 勝田市長砂 西約10km地	国・県 国	7/18 7/14 7/6		
表	土	周辺監視区域内	2点	安全管理棟前東	国 国	_____ _____ _____		
		周辺監視区域外	3点	東海村照沼 勝田市長石川	国・県 国	_____ _____ _____		
河	川	水	周辺監視区域外	4点	新新川上 新新川中 新新川下 久慈川上	国 国・県 国 国	_____ _____ _____ _____	
河	底	土	周辺監視区域外	4点	新新川上 新新川中 新新川下 久慈川上	国 国・県 国 国	_____ _____ _____ _____	
排水口	土砂	周辺監視区域外	1点	第2排水口下	県	7/4		
湖	沼	水	周辺監視区域外	1点	阿漕ヶ浦	県	_____	

表 4 - 2 海洋環境試料の採取

測定対象	採取地点	採取点数	区分	採取日	備考	
海水	放出口付近5点混合 久慈崎沖点 磯崎沖点 北約20km点	1点 1点 1点	国 国 国 国	7/8 7/5 7/8 7/5		
	F海域7点混合 H海域7点混合 P海域5点混合		県 県 県	7/13 7/13 7/13		
	詳細海水	30点	県	7/4, 8/2, 9/6		
海底土	放出口付近5点混合 久慈崎沖点 磯崎沖点 北約20km点	1点 1点 1点	国 国 国 国	_____ _____ _____ _____		
	F海域7点混合 H海域7点混合 P海域5点混合		県 県 県	7/12, 13 7/12, 13 7/13		
海岸水	久慈浜海岸 阿字ヶ浦海岸 北約20km点 南約20km点	1点 1点 1点 1点	国 国 国 国	_____ _____ _____ _____		
海岸砂	久慈浜海岸 阿字ヶ浦海岸	1点 1点	県 県	7/4 7/4		
海産物	シラス	東海村地先 磯崎地先 約10km以遠	1点 1点 1点	国・県 県 国	8/1 7/14 7/13	
	カレイ 又は ヒラメ	東海村地先 磯崎地先 約10km以遠	1点 1点 1点	国・県 県 国	7/22 7/15 9/9	カレイ カレイ カレイ
	貝類	久慈浜地先 磯崎地先 約10km以遠	1点 1点 1点	国・県 県 国	8/25, 8/31 8/28 8/26	平貝, アワビ ハマグリ ハマグリ
	ワカメ 又は ヒジキ	久慈浜地先 磯崎地先 約10km以遠	1点 1点 1点	国・県 国・県 国	7/6 7/11 8/24	アラメ アラメ アラメ
漁網	東海村地先に於いて 「せいかい」曳航の漁網		国・県	6/30-9/30	曳航時間 81時間	
船体	「せいかい」甲板		国	6/30/9/30		

4.1.2 環境放射能分析

7月～9月の再処理施設保安規定及び茨城県環境放射線監視計画に基づく環境監視結果、事所内外からの依頼分析並びにJNFLからの受託分析件数は、表4-3及び表4-4に示すとおりであった。

表4-3 環境試料の分析件数（Ge半導体検出器を用いた機器分析法）

測定対象		試料数	核種									
			⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	⁹⁵ Nb	⁹⁵ Zr	¹⁰⁶ Ru	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
陸上環境試料	空気	浮遊じん	7	4	4	4	4	4			7	4
	空気	ヨウ素	52						52			
	葉菜	菜	3						3			
	精米	米										
	牛乳	乳	3						3			
	表土	土										
	河底土	土										
海洋環境試料	海水	水	2					2		2	2	2
	詳細海水		21								21	
	海底土	土	3	3	3	3	3	3			3	3
	海岸水											
	海岸砂	砂	2	2	2			2			2	2
	海産生物		13	9	9	9	9	13		9	13	13
その他												
計			106	18	18	16	16	24	58	11	48	24

表 4 - 4 環境試料の分析件数 (放射化学分析法)

測定対象		試料数	核種							計	
			全 α	全 β	³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	U	²³⁸ Pu		²³⁹ Pu + ²⁴⁰ Pu
陸上環境試料	空 浮遊じん	91	91	91			7			7	196
	気 水分	6			6						6
	雨 水	3			3						3
	降下じん	3		3							3
	飲料水	4		4	4						8
	葉 菜										
	精 米										
	牛 乳										
	表 土										
	河 川 水										
	河 底 土										
	排水口土砂	1						1		1	2
湖 沼 水											
海洋環境試料	海 水	7		4	7		2			2	15
	海 底 土	3					3			3	6
	海 岸 水										
	海産生物	13					13			13	26
	詳細海水	90		90	90						180
その他	事業所内 (飲料水)	65	65	13							78
	大洗(海産物)	3					3				3
	JNFL(河底土)	4							4		4
	(海産物)	1							1		1
	(野菜)	1							1		1
	(海底土)	2							2		2
(海水)	5							5		5	
計		302	156	205	110		28	1		39	539

4.1.3 海洋観測及びモニタリング船「せいかい」の活動

- 1) 海洋観測実施は、表4-5のとおり。
- 2) 東海村沿岸海域の海洋拡散調査の一環として、再処理工場廃液の海洋拡散基礎データ収集を目的として放出口周辺における海象（水温・塩分・流向及び流速）の連続観測を電磁流向流速計（ACM16M-4）を使用して継続実施した。
- 3) 当期の海洋観測における出航回数は15回であった。

表4-5 モニタリング船「せいかい」の運航状況

No.	出航年月日	業 務 内 容
18	H. 6. 7. 4	東海沖の海洋環境影響詳細調査
19	7. 5	再処理保安規定に基づく北20km点及び久慈沖の海水採取
20	7. 8	再処理保安規定に基づく放出口周辺海域の海水採取 再処理保安規定に基づく磯崎沖の海水採取
21	7. 12	県監視計画による海域の海底土採取
22	7. 13	県監視計画による海域の海水海底土採取
23	7. 14	東海沖の海洋調査（水温・塩分・密度の鉛直観測）
24	7. 20	原研（大洗）受託・動燃（大洗）依頼による大洗沖の海水、 海底土採取
25	7. 21	原研（東海）受託による海水、海底土採取
26	7. 22	東海沖の海洋調査（水温・塩分・密度の水平観測）
27	H. 6. 8. 2	東海沖の海洋環境影響詳細調査
28	8. 4	東海沖の海洋調査（水温・塩分・密度の鉛直観測）
29	8. 10	東海沖の海洋調査（水温・塩分・密度の水平観測）
30	H. 6. 9. 6	東海沖の海洋環境影響詳細調査
31	9. 9	東海沖の海洋調査（水温・塩分・密度の鉛直観測）
32	9. 26	粒径分析用の海水採取

4.1.4 気象観測

当期実施した気象観測項目は、以下のとおりである。

表4-6 気象観測一覧

観測場所	観測項目		観測場所	観測項目	
気象 観測塔	微風計 (塔頂)	風向	安全管理 棟付近	微風計 (地上10m)	風向
		風速			風速
	風速計 (塔頂)	風向		日射量・放射収支量	
		風速		大気安定度	
	気温 (地上1.5m)			降雨量	
	気温差 (地上10m 塔頂)			気温	
				湿度	
		定時観測	気温(最低・最高)		
			湿度		
		天気			

4.1.5 環境データ処理状況

当期の環境データ処理装置の稼働状況は、次のとおりであった。

表4-7 環境データ処理装置の稼働状況

	7月	8月	9月
電源投入時間(時間)	142.29	138.34	132.43
CPU時間(時間)	7.37	4.57	4.27
コネクト時間(時間)	1978.70	1880.48	1778.23
ダウン時間(時間)	0.0	0.0	0.0
定検時間(時間)	2.0	2.0	2.0
セッション回数(回)	786	744	733
出力ライン数	279545	40043	61349

4.2 放出放射能監視業務

4.2.1 排水中の放射性物質及び一般公害物質の監視結果

東海事業所から環境へ放出する放射性排水の放出系統は、海洋放出系（再処理施設から海中放出管を經由して海洋へ放出する系統）、第一排水溝系（中央廃水処理場から調整池を經由して第一排水溝から新川へ放出する系統）及び第二排水溝系（核燃料技術開発部プルトニウム燃料第一開発室から第二排水溝を經由して海面へ放出する系統）の3系統があり、各施設からそれぞれの系統に放出する排水中の放射性物質及び一般公害物質の分析・監視を行った。

その結果、いずれの排水溝においても基準値を下回っており問題は無かった。表4-8に、放出排水中の放射性物質及び一般公害物質の分析結果の概要を示す。

1) 海洋放出系排水（再処理施設海洋放出排水）

再処理施設からの海洋放出排水については、放出バッチごとに放射性物質及び一般公害物質の測定を実施し、放出可否判定を行った。測定項目は、放射性物質については全 α 放射能、全 β 放射能、 γ スペクトル（核種分析）及び ^3H 、一般公害物質についてはpH、SS、COD及び油分である。さらに、月間合成試料を調製し、ストロンチウム、ヨウ素、ウラン及びプルトニウムの核種分析を実施した。分析結果は、再処理保安規定に定められている放出基準値を十分下回っていた。

2) 第一排水溝系排水（中央廃水処理場放出排水）

中央廃水処理場から放出する排水は、排水溝に設置した自動コンポジットサンプリャにより週毎に連続採取し、全 α 放射能、全 β 放射能、 ^3H 、pH及びフッ素の分析を実施した。

また、月間合成試料を調整し、 γ スペクトロメトリ（核種分析）、ウラン及びプルトニウムの分析・監視を実施した。

中央廃水処理場へ送水している各施設の排水については、放出バッチごとに放射性物質及び一般公害物質の測定を実施し、放出可否判定を行った。

第一排水溝における放射性物質濃度は、中央廃水処理場からの放射性排水が調整池で一般雑排水と混合希釈されるため、中央廃水処理場からの放射性物質の放出量に、調整池での一般雑排水による希釈率を乗じて計算によって求めた。

分析結果は、核燃料物質使用施設保安規定に定められている基準値を十分下回っていた。

3) 第二排水溝（プルトニウム燃料第一開発室海面放出排水）

核燃料技術開発部プルトニウム燃料第一開発室からの海面放出排水は、放出バッチごとに放射性物質及び一般公害物質の測定を実施し、放出可否判定を行った。測定項目は、全 α 放射能及び全 β 放射能、一般公害物質についてはpH、SS、COD及び油分である。さらに、月間合成試料を調整し、プルトニウム及びウランの核種分析を実施した。分析結果は、核燃料物質使用施設保安規定に定める基準値を十分下回っていた。また、放出水量は県魚連との覚書きに定めた放出水量以下であることを確認した。

表 4 - 8 放出排水中の放射性物質及び一般公害物質の概要

排水溝	3ヵ月間における 最大濃度 施設	全α放射能	全β放射能	³ H	γ-sp	濃度 限度比	pH	SS	COD	油分	フッ素	
		Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
海放出中管	再処理施設	<1.1×10 ⁻³	<2.2×10 ⁻²	3.3×10 ³	1.8×10 ⁻²	/	6.3	2.0	9.0	<0.5	—	
		(<1.1×10 ⁻³)	(<2.2×10 ⁻²)	(7.7×10 ²)	(<1.8×10 ⁻²)		8.1	(1.2)	(2.4)	(<0.5)	—	
第1排水溝	核燃料技術開発部 R-4室	1.3×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	6.4	17	9.4	<0.5	—	
		(1.0×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	—	—	0.20	7.6	(5.6)	(4.0)	(<0.5)	—	
第1排水溝	核燃料技術開発部 燃料製造機器試験室	<1.0×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	6.1	—	—	—	—	
	核燃料技術開発部 廃水処理室	5.9×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	7.0	—	—	—	0.84	
	(2.3×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	—	—	0.66	7.8	—	—	—	(0.33)	—	
	プルトニウム燃料工場 第2洗濯室	<1.0×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	7.1	—	—	—	—	
	(<1.0×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	—	—	0.17	7.6	—	—	—	—	—	
	プルトニウム燃料工場 第3洗濯室	<1.0×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	7.0	—	—	—	—	
	(<1.0×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	—	—	0.17	7.4	—	—	—	—	—	
	再処理技術開発部 A棟	<1.0×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	6.6	—	—	—	—	0.63
	(<1.0×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	—	—	0.17	6.8	—	—	—	—	(0.52)	—
	再処理技術開発部 B棟	1.5×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	<1.4×10 ⁻³	0.36	7.1	—	—	—	—	—
	(1.7×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	<3.7	(¹²³)	0.24	7.1	—	—	—	—	—	—
	(1.7×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	(<3.7)	—	0.42	7.7	—	—	—	—	—	—
環境施設部 焼却施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
環境施設部 洗濯場	<1.0×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	—	—	0.17	7.5	—	—	—	—	—	
(<1.0×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	—	—	0.17	7.6	—	—	—	—	—	—	
環境施設部 中央廃水処理場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
環境施設部 ウラン系廃棄物貯蔵施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
安全管理部 安全管理棟	<1.0×10 ⁻⁴	<2.2×10 ⁻³	<3.7	—	0.24	7.2	—	—	—	—	—	
(<1.0×10 ⁻⁴)	(<2.2×10 ⁻³)	(<3.7)	—	0.24	7.8	—	—	—	—	—	—	
中央廃水処理場	1.4×10 ⁻⁴	2.2×10 ⁻⁴	<3.7	不検出	0.17	6.5	—	—	—	—	0.36	
(1.0×10 ⁻⁴)	(1.9×10 ⁻⁴)	(<3.7)	—	0.21	7.5	—	—	—	—	(0.21)	—	
第1排水溝	5.0×10 ⁻³	3.8×10 ⁻³	<3.7	—	/	—	—	—	—	—	—	
(2.8×10 ⁻³)	(4.9×10 ⁻³)	(<3.7)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

注1. 表中の濃度は、3ヵ月間における最大濃度を示す。()内は3ヵ月間における平均濃度を示す。なお、pHについては範囲を示す。
 注2. 平均濃度は、放射性物質については実測量に不検出量を加えて排水量で除した値、一般公害物質については算術平均(検出限界値未満については検出限界値を用いた)した値を示す。
 注3. 第1排水溝の値は、中央廃水処理場の測定結果から第1排水溝での希釈倍率を乗じて計算によって求めた。
 注4. 今期の希釈倍率(第1排水溝の排水量/中央廃水処理場の排水量)は、約38倍であった。
 注5. 中央廃水処理場のγ-sp測定結果は、全て検出限界値未満であったため「不検出」と表示した。
 注6. 濃度限度比は、各分析項目の測定値または検出限界値を基準値で除した値を合計したもので、最小値から最大値を示す。

4.2.2 排気中放射性物質の分析

各施設の排気筒から環境中に放出される放射性物質の放出量の監視は、放射線管理担当課が実施しているが、放射線管理担当課の依頼により再処理施設、CPF施設及びプルトニウム燃料工場の排気試料について分析を実施した。これらの分析項目と分析件数を表4-9に示す。

表4-9 排気試料の分析件数

単位：件

施設	分析項目	^3H	^{14}C	I	Pu	U	Sr	r- SP	その他	合計	取り扱い 試料数
		環境 放 出 管 理	再処理施設	55	73	602	-	-	-	-	-
CPF施設	13		-	-	-	-	-	-	-	13	13
プルトニウム燃料工場	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
核燃料技術開発部	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
再処理技術開発部	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
環境施設部	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
分 析 依 頼	再処理施設	-	-	6	-	-	-	-	-	6	4
	CPF施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	プルトニウム燃料工場	-	-	-	2	-	-	-	2	4	2
	核燃料技術開発部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再処理技術開発部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	環境施設部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		68	73	608	2	-	-	-	2	753	637
対照試料分析件数		-	13	-	-	-	-	-	-	13	-
合計		68	86	608	2	-	-	-	2	766	637

4.2.3 外部機関による立入サンプリング時の試料分析

外部機関として県公害技術センター及び水戸原子力事務所による立入りサンプリングが、毎月1回実施されている。これらのサンプリングに対応し、同時サンプリングを行い、試料の分析を実施した。

今期、県公害技術センターによる立入りサンプリングは、7月4日、8月1日及び9月1日に第一排水溝及び第二排水溝について行われた。再処理工場については、排水放出試料（SD-082, SD-085, SD-091, SD-094, SD-100, SD-113）を県公害技術センターへ提出した。

水戸原子力事務所による立入りサンプリングは、7月6日、8月18日及び9月16日に第一排水溝・新川合流点及び村松海岸において実施した。

立入りサンプリング試料の分析結果は、全て再処理施設保安規定及び核燃料物質使用施設保安規定に定められている放出基準値を並びに、茨城県環境放射線監視計画に定められた排出基準値を十分下回っていた。

4.3 内部被ばく管理（バイオアッセイ）

4.3.1 定常バイオアッセイ

7月～9月に実施した定常のバイオアッセイの対象施設及び件数は表4-10のとおりであった。

表4-10 定常バイオアッセイ件数

施設名	試料	核種	件数
再処理工場処理部 化学処理2課	尿	^{230}Pu 、 ^{240}Pu	6
再処理工場工務部 技術課			5
分析課			10
環境施設部 処理2課	尿	U	1
再処理技術開発部 機器材料開発部			2
プロセス分析開発室			4
核燃料技術開発部 新型濃縮技術開発室			4
遠心法設計開発室			5
再処理工場処理部 化学処理2課			15
再処理工場工務部 技術課			5
分析課			10
合計			

5. 個人被ばく管理

5.1 外部被ばく管理

5.1.1 放射線業務従事者の被ばく管理

(1) 実効線量当量

平成6年度第2四半期における実効線量当量の分布を表5-1に示す。今四半期の管理対象人数は3,713名で、このうち1ヵ月管理対象者は508名であった。今四半期の集団線量当量は0.2930人・シーベルト、個人最高はプルトニウム燃料工場製造加工部製造課における2.5ミリシーベルトであり、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

(2) 組織線量当量

皮膚

今四半期の線量分布を表5-2に示す。管理対象人数は3,713名、個人最高は再処理工場工務部技術課における2.9ミリシーベルトであり、法令、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

手部（β線+γ線）

今四半期のγ線用指リング線量計着用者の線量分布を表5-3に示す。管理対象人数は513名、個人最高は再処理工場工務部技術課における7.6ミリシーベルトであり、法令、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

手部（γ線）

今四半期のγ線用指リング線量計着用者の線量分布を表5-4に示す。管理対象人数は657名、個人最高はプルトニウム燃料工場製造加工部製造課における19.6ミリシーベルトであり、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

5.1.2 一時立入者の被ばく管理

今四半期の管理区域内一時立入者の測定結果を表5-5に示す。管理対象人数は2,398名、個人最高は再処理工場の0.2mSvであり、法令、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

5.1.3 作業モニタリング

今四半期の特殊放射線作業等に伴う作業モニタリングの状況を表5-6に示す。

5.2 内部被ばく管理

5.2.1 定常モニタリング

今四半期の実施状況を表5-7に示す。

(1) バイオアッセイ

プルトニウムを取り扱う放射線業務従事者21名についてプルトニウムのバイオアッセイを、ウランを取り扱う放射線業務従事者46名についてウランのバイオアッセイを実施した結果、全員異常は認められなかった。

(2) 肺モニタ

プルトニウムを取り扱う放射線業務従事者46名について肺モニタによる測定を実施した結果、全員異常は認められなかった。

(3) 全身カウンタ

再処理工場及びC P F施設の放射線業務従事者について、年1回の定期測定及び入退所時の測定、また一時立入者のうちアンバー区域立入者に対する立入前後の測定を実施した結果、全員異常は認められなかった。

5.3 線量当量測定結果の報告、通知、登録関係業務

5.3.1 国への報告

原子炉等規制法に基づき科学技術庁長官に報告した平成6年度上期放射線管理報告の内容を表5-8に、また、原子力安全局長の通達に基づき報告した平成6年度上期放射線管理報告の内容を表5-9にそれぞれ示す。

5.3.2 放射線従事者中央登録制度関係業務

今四半期に東海事業所から放射線従事者中央登録センターに対して行った各種申請の件数をまとめて表5-10に、また放射線業務従事者の指定・解除処理件数及び請負業者あてに送付した個人被ばく歴報告書の送付件数を表5-11に示す。

5.4 個人線量計等の管理

今四半期における東海事業所の個人線量計に係る定期点検の実施状況を表5-12に示す。また、TLDリーダー（手動型7台、自動型2台）についても、定期的（1回/月）に感度校正等の点検を実施した。

5.5 特記事項

5.5.1 その他の線量測定

(1) 作業環境及び野外の積算線量の測定

今四半期に実施した作業環境及び野外環境の積算線量測定件数の内訳を表5-13に示す。

(2) 外部機関の線量当量測定

今四半期A T Sの16名及び玉造部材検査所の9名に対して線量当量の測定を実施した。

5.5.2 研究生の受け入れ

科学技術庁原子力研究交流制度に基づき、9月5日より3ヶ月間の予定で中国から研修生1名を受け入れ、研修を実施している。

表 5 - 1 実効線量当量

測定期間:平成6年7月1日~平成6年9月30日

線量分布		管理対象人数	検出限界未満	0.1mSv以上 1.3mSv以下	1.3mSvを超え 3.7mSv以下	3.7mSvを超え 13.0mSv以下	13.0mSvを超え 50.0mSv以下	50.0mSvを 超える	集団線量 当量 (人・Sv)	一人当 たりの平均 (mSv)	一人当 たりの最大 (mSv)
部課室名		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			
東海事業所		7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
安全管理部	安全対策課	28 (14)	28 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	放射線管理第一課	96 (72)	89 (66)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0016	0.0	0.4
	放射線管理第二課	121 (89)	115 (84)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0010	0.0	0.2
	環境安全課	28 (13)	28 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	安全技術課	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	276 (188)	263 (177)	13 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0025	0.0	0.4
核燃料サイクル工学研修室		16 (6)	16 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
管理部総務課		20 (14)	20 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
建設工務管理室		31 (11)	31 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
技術開発部	研究開発調整室	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	核物質管理室	8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	品質保証室	21 (6)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	33 (6)	33 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
プルトニウム燃料工場	管 理 課	202 (172)	191 (164)	11 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0034	0.0	0.9
	設 備 課	175 (160)	163 (149)	12 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0020	0.0	0.2
	検 査 課	117 (91)	76 (57)	41 (34)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0117	0.1	1.0
	燃料製造施設建設室	73 (53)	73 (53)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	転 換 課	205 (186)	157 (143)	47 (42)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0240	0.1	1.5
	製 造 課	317 (260)	124 (93)	165 (141)	28 (26)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1575	0.5	2.5
	加 工 課	80 (62)	73 (57)	7 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0012	0.0	0.3
	工 場 合 計	1,169 (984)	857 (716)	283 (241)	29 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1998	0.2	2.5
再処理工場	管 理 課	72 (42)	72 (42)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	前 処 理 課	133 (91)	101 (69)	32 (22)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0074	0.1	0.4
	化学処理第一課	111 (33)	91 (30)	20 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0050	0.0	0.6
	化学処理第二課	204 (135)	145 (110)	59 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0141	0.1	0.6
	化学処理第三課	128 (77)	99 (57)	29 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0063	0.0	0.5
	技 術 課	264 (220)	249 (208)	15 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0066	0.0	1.3
	分 析 課	183 (131)	93 (61)	89 (70)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0267	0.1	1.4
	工 場 合 計	1,095 (729)	850 (577)	244 (152)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0661	0.1	1.4
研究施設管理課		92 (80)	92 (80)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
核燃料技術部	プルトニウム燃料開発室	56 (25)	39 (14)	16 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0089	0.2	1.4
	先端技術開発室	12 (4)	12 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	遠心法設計開発室	87 (48)	87 (48)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	新型濃縮技術開発室	38 (16)	38 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	転換技術開発室	45 (31)	16 (7)	28 (23)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0144	0.3	1.4
	部 合 計	238 (124)	192 (89)	44 (33)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0233	0.1	1.4
再処理技術部	プラント設計開発室	7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	機器材料開発室	37 (22)	37 (22)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	プロセス・分析開発室	59 (32)	59 (32)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	103 (54)	103 (54)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
環境技術部	環境技術第一開発室	14 (5)	14 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	環境技術第二開発室	61 (42)	60 (41)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0002	0.0	0.2
	地層処分開発室	23 (11)	23 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	98 (58)	97 (57)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0002	0.0	0.2
環境施設部	技 術 課	163 (134)	163 (134)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	処 理 第 一 課	159 (144)	153 (139)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0008	0.0	0.2
	処 理 第 二 課	96 (83)	94 (81)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0002	0.0	0.1
	処 理 第 三 課	117 (79)	117 (79)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	535 (440)	527 (433)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0010	0.0	0.2
総 合 計		3,713 (2,694)	3,088 (2,220)	593 (445)	32 (29)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2930	0.1	2.5

括弧内は内数で外来者(請負作業、業務協力員等)を示す。外部被ばくの検出限界は0.1mSvである。

表 5 - 2 組織線量当量・皮膚

測定期間:平成6年7月1日～平成6年9月30日

線量分布		管理対象人数 (人)	1.0mSv未満 (人)	1.0mSv以上 13mSv以下 (人)	13mSvを超え 37mSv以下 (人)	37mSvを超え 130mSv以下 (人)	130mSvを超え 500mSv以下 (人)	500mSvを 超える (人)	一人当 たりの最大 (mSv)	備 考
東 海 事 業 所		7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
安全管理部	安全対策課	28 (14)	28 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第一課	96 (72)	96 (72)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.4	
	放射線管理第二課	121 (89)	121 (89)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	環境安全課	28 (13)	28 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	安全技術課	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	276 (188)	276 (188)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.4	
核燃料サイクル工学研修室		16 (6)	16 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
管理部 総務課		20 (14)	20 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
建設工務管理室		31 (11)	31 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
技術開発部 推進部	研究開発調整室	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	核物質管理室	8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	品質保証室	21 (6)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	33 (6)	33 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
プルトニウム燃料工場	管 理 課	202 (172)	202 (172)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.9	
	設 備 課	175 (160)	175 (160)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	検 査 課	117 (91)	116 (90)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0	
	燃料製造施設建設室	73 (53)	73 (53)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転 換 課	205 (186)	197 (178)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.5	
	製 造 課	317 (260)	243 (192)	74 (68)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.5	
	加 工 課	80 (62)	80 (62)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.3	
	工 場 合 計	1,169 (984)	1,086 (907)	83 (77)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.5	
	再処理工場	管 理 課	72 (42)	72 (42)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0
前 処 理 課		133 (91)	133 (91)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.4	
化学処理第一課		111 (33)	111 (33)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.6	
化学処理第二課		204 (135)	204 (135)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.6	
化学処理第三課		128 (77)	128 (77)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.5	
技 術 課		264 (220)	262 (218)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.9	
分 析 課		183 (131)	182 (131)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.4	
工 場 合 計		1,095 (729)	1,092 (727)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.9	
研究施設管理課		92 (80)	92 (80)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料技術部 開発部	プルトニウム燃料開発室	56 (25)	54 (23)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.4	
	先端技術開発室	12 (4)	12 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	遠心法設計開発室	87 (48)	87 (48)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	新型濃縮技術開発室	38 (16)	38 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転換技術開発室	45 (31)	41 (28)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.4	
	部 合 計	238 (124)	232 (119)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.4	
再処理技術部 術開発部	プラント設計開発室	7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	機器材料開発室	37 (22)	37 (22)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	プロセス・分析開発室	59 (32)	59 (32)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	103 (54)	103 (54)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境技術部 開発部	環境技術第一開発室	14 (5)	14 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境技術第二開発室	61 (42)	61 (42)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	地層処分開発室	23 (11)	23 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	98 (58)	98 (58)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
環境施設部	技 術 課	163 (134)	163 (134)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 一 課	159 (144)	159 (144)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	処 理 第 二 課	96 (83)	96 (83)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1	
	処 理 第 三 課	117 (79)	117 (79)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	535 (440)	535 (440)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
総 合 計		3,713 (2,694)	3,621 (2,610)	92 (84)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.9	

括弧内は内数で外来者(請負作業員、業務協力員等)を示す。

表5-3 組織線量当量・手部 (β + γ)

測定期間:平成6年7月1日～平成6年9月30日

線量分布		管理対象人数	3mSv未満	3mSv以上 13mSv以下	13mSvを超え 37mSv以下	37mSvを超え 130mSv以下	130mSvを超え 500mSv以下	500mSvを 超える	一人当たりの最大 (mSv)	備 考
部課室名		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
東海事業所		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
安全管理部	安全対策課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第二課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境安全課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	安全技術課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料サイクル工学研修室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
管理部 総務課		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
建設工務管理室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
技術開発部	研究開発調整室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	核物質管理室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	品質保証室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
プルトニウム燃料工場	管 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	設 備 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	検 査 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	燃料製造施設建設室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転 換 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	製 造 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	加 工 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	工 場 合 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
再処理工場	管 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	前 処 理 課	53 (24)	53 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第一課	33 (9)	33 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第二課	83 (30)	83 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第三課	36 (25)	35 (25)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.5	
	技 術 課	19 (14)	17 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7.6	
	分 析 課	132 (85)	127 (82)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4.5	
	工 場 合 計	356 (187)	348 (182)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7.6	
研究施設管理課		20 (19)	20 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料技術部	プルトニウム燃料開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	先端技術開発室	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	遠心法設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	新型濃縮技術開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転換技術開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
再処理技術部	プラント設計開発室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	機器材料開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	プロセス・分析開発室	40 (24)	40 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	41 (24)	41 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境技術部	環境技術第一開発室	7 (5)	7 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境技術第二開発室	19 (12)	19 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	地層処分開発室	17 (9)	17 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	43 (26)	43 (26)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境施設部	技 術 課	16 (16)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 一 課	22 (19)	22 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 二 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 三 課	11 (8)	11 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	49 (43)	49 (43)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
総 合 計		513 (300)	505 (295)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7.6	

括弧内は内数で外来者(請負作業、業務協力員等)を示す。検出限界は3.0mSvである。

表 5 - 4 組織線量当量・手部 (γ)

測定期間:平成6年7月1日～平成6年9月30日

部署名	線量分布	管理対象人数 (人)	0.2mSv未満 (人)	0.2mSv以上 13mSv以下 (人)	13mSvを超え 37mSv以下 (人)	37mSvを超え 130mSv以下 (人)	130mSvを超え 500mSv以下 (人)	500mSvを 超える (人)	一人当たりの最大 (mSv)	備 考
東海事業所		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
安全管理部	安全対策課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第二課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境安全課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	安全技術課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料サイクル工学研修室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
管理部 総務課		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
建設工務管理室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
技術開発部	研究開発調整室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	核物質管理室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	品質保証室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
プルトニウム燃料工場	管 理 課	47 (34)	27 (21)	20 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4.2	
	設 備 課	24 (21)	11 (8)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.9	
	検 査 課	71 (53)	26 (16)	45 (37)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6.8	
	燃料製造施設建設室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転 換 課	75 (63)	44 (40)	29 (21)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13.4	
	製 造 課	259 (205)	67 (38)	174 (150)	18 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19.6	
	加 工 課	44 (27)	32 (19)	12 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.1	
	工 場 合 計	520 (403)	207 (142)	293 (242)	20 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19.6	
再処理工場	管 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	前 処 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第二課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第三課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	技 術 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	分 析 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	工 場 合 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
研究施設管理課		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料技術部	プルトニウム燃料開発室	38 (20)	17 (4)	20 (15)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13.6	
	先端技術開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	遠心法設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	新型濃縮技術開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転換技術開発室	39 (27)	7 (2)	32 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12.5	
	部 合 計	77 (47)	24 (6)	52 (40)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13.6	
再処理技術部	プラント設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	機器材料開発室	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	プロセス・分析開発室	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	6 (4)	6 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境技術部	環境技術第一開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境技術第二開発室	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	地層処分開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境施設部	技 術 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 一 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 二 課	51 (47)	41 (37)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.7	
	処 理 第 三 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	51 (47)	41 (37)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.7	
総 合 計		657 (501)	281 (189)	355 (292)	21 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19.6	

括弧内は内数で外来者(請負業者、業務協力員等)を示す。検出限界は0.2mSvである。

表 5 - 5 管理区域内一時立入者の被ばく管理

(平成6年度第2四半期)

部 署	管理対象人数 (人)	検出限界未満 (人)	0.1mSvを超える (人)	一人当たりの 最大 (mSv)
安 全 管 理 部	66 (9)	66 (9)	0 (0)	0.0 (0.0)
プルトニウム燃料工場	595 (281)	595 (281)	0 (0)	0.0 (0.0)
再 処 理 工 場	1,030 (656)	1,028 (656)	2 (0)	0.2 (0.0)
核燃料技術開発部	172 (79)	172 (79)	0 (0)	0.0 (0.0)
再処理技術開発部	251 (99)	251 (99)	0 (0)	0.0 (0.0)
環 境 技 術 開 発 部	26 (0)	26 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)
環 境 施 設 部	258 (122)	258 (122)	0 (0)	0.0 (0.0)
合 計	2,398 (1,246)	2,396 (1,246)	2 (0)	0.2 (0.0)

括弧内は内数で見学者を表わす。

線量計 : TLD (UD-300P2)

検出限界 : 0.1ミリシーベルト

表 5 - 6 特殊放射線作業等に伴う作業モニタリング

(平成6年度第2四半期)

部 課 室 名	件 名	着用期間	管 理 対 象 人 数 (人)				
			TLDバッジ	TLDリング ($\beta+\gamma$)	TLDリング (γ)	TLD UD-200S	
安 全 管 理 部	放射線管理第二課	Pu混合転換工程の更新工事・倍焼還元工程内設備の撤去・据付	09/01~09/22	1	0	0	0
プルトニウム燃料工場	管 理 課	廃棄物仕分け作業	09/01~09/22	4	0	4	0
		保障措置査察	09/07~09/09	24	0	24	0
	設 備 課	Pu燃料工場での粉末回収に係わる廃棄物処理作業	07/01~07/29	1	0	1	0
			08/01~08/31	2	0	2	0
		09/01~09/30	2	0	2	0	
		自動火災報知設備及び誘導灯の保守点検	08/30~08/30	1	0	0	0
		廃棄物仕分け作業	09/01~09/22	2	0	2	0
		査 査 課	保障措置査察	09/07~09/09	7	0	7
	製 造 加 工 部	Pu混合転換工程の更新工事・焙焼還元工程内設備の撤去・据付	07/01~07/16	23	0	15	0
			中間貯蔵工程内設備の撤去・据付グローブボックス漏洩検査	07/04~07/14	4	0	4
		セル (R052, R055) 入室前の線量測定	08/23~08/24	2	0	0	0
		セル (R052, R055) 内タンク等の点検	09/02~09/06	16	0	0	0
		HBASによる校正作業	09/08~09/26	5	0	5	0
		製 造 課	湿式造粒設備の撤去	09/01~09/30	7	0	0
	湿式造粒設備の撤去		09/01~09/30	1	0	0	0
	保障措置査察		09/07~09/09	9	0	9	0
	加 工 課	Pu燃料工場での粉末回収に係わる廃棄物処理作業	07/01~07/29	17	0	16	0
			08/01~08/31	17	0	17	0
			09/01~09/30	17	0	17	0
		廃棄物仕分け作業	09/01~09/22	12	0	12	0
保障措置査察		09/07~09/09	3	0	3	0	

表5-6 特殊放射線作業等に伴う作業モニタリング(つづき)

(平成6年度第2四半期)

部 課 室 名	件 名	着用期間	管 理 対 象 人 数 (人)				
			TLDバッジ	TLDリング ($\beta+\gamma$)	TLDリング (γ)	TLD UD-200S	
再 処 理 工 場	前 処 理 課	セル内1トンホイスト交換作業	07/04~09/16	33	33	0	0
			08/04~09/16	0	13	0	0
			09/01~09/16	8	10	0	0
		イオン交換塔樹脂サンプリング	07/25~08/29	15	4	0	0
		せん断機排気フィルタ及びR0153監視ITVの交換	07/27~08/29	8	0	0	0
			08/25~08/29	8	0	0	0
	化学処理第一課	セル(R105D)内点検作業	07/18~07/21	18	18	0	0
		スチームジェット(243J201)点検作業	08/02~08/09	6	6	0	0
		セル(R105D)内点検	08/04~08/05	12	12	0	0
		スチームジェット(243J201)点検作業	08/29~09/01	5	5	0	0
	化学処理第二課	サンドリオン輸送作業	07/11~07/15	4	1	0	0
		電磁弁の交換作業	07/25~08/31	17	0	0	0
		酸回収精留塔(273T40)内部点検作業	07/26~09/09	24	24	0	0
		R220点検・補修	07/27~08/05	16	12	0	0
	化学処理第三課	サンプリングベンチNo.1,2,4,6ブーツ交換	09/02~09/14	34	34	0	0
		移送ポンプセル(R073)内の除染作業	09/05~09/09	16	16	0	0
	技 術 課	317-P11ポンプの交換作業	09/21~09/26	1	1	0	0
		アムリバルブの交換作業	09/12~09/13	18	18	0	0
	分 析 課	317-P11ポンプの交換作業	09/21~09/26	17	17	0	0
		気送管更新工事	07/01~07/29	13	13	0	0
		DUR排気ダクト更新工事	08/01~08/31	10	0	0	0
気送管細断及び排気フィルター交換作業		08/23~08/29	14	14	0	0	
気送管細断及び排気フィルター交換作業		09/01~09/12	19	19	0	0	
DUR排気ダクト更新工事		09/01~09/06	10	0	0	0	
	高放射性試料分析セルラインの整備作業	09/14~09/16	14	14	0	0	

表 5 - 6 特殊放射線作業等に伴う作業モニタリング（つづき）

(平成6年度第2四半期)

部 課 室 名	件 名	着用期間	管 理 対 象 人 数 (人)				
			TLDバッジ	TLDリング ($\beta+\gamma$)	TLDリング (γ)	TLD UD-200S	
核 燃 料 技 術 開 発 部	プルトニウム燃料開発室	保障措置査察	09/07~09/09	6	0	6	0
	転換技術開発室	保障措置査察	09/07~09/09	6	0	6	0
環 境 技 術 開 発 部	環境技術第二開発室	核種除去試験	07/01~09/30	8	8	0	0
	地層処分開発室	高レベル放射性廃液のBC-1セル受け入れ	07/11~07/19	0	10	0	0
		サンドリオン輸送作業	07/11~07/15	8	8	0	0
環 境 施 設 部	技 術 課	HASWS R031付着物サンプリング作業	09/12~09/14	0	6	0	0
合 計				544	316	152	0

表5-7 内部被ばく管理状況

(平成6年度第2四半期)

測定項目 部署名	定期バイオアッセイ		定期肺モニタ	定期全身カウ ンタ	測定項目 立入施設	入退所時の全身カウンタ測定	
	ウ ラ ン	プ ル ト ニ ウ ム				従事者指定・ 指定解除(人)	一時立入者
東海事業所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)			
安全管理部	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
核燃料サイクル工学研 修室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
管理部	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (5)			
建設工務管理室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (3)			
技術開発推進部	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (1)			
プルトニウム燃料工場	0 (0)	0 (0)	46 (39)	0 (0)			
再処理工場	29 (11)	21 (6)	0 (0)	2 (1)			
研究施設管理課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (25)			
核燃料技術開発部	9 (3)	0 (0)	0 (0)	5 (1)			
再処理技術開発部	7 (4)	0 (0)	0 (0)	56 (22)			
環境技術開発部	0 (0)	0 (0)	0 (0)	64 (33)	再処理施設	1,496	315 (230)
環境施設部	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	CPF	84	52 (23)
合計	46 (19)	21 (6)	46 (39)	213 (91)	合計	1,580	367 (253)

括弧内数字は内数で、外来者(請負作業員、業務協力員等)である。

表 5 - 8 平成 6 年度上期放射線管理報告書（科学技術庁長官あて）

規制区分	線量当量分布						
再処理事業者	放射線業務従事者の1年間の線量当量分布						
	1年間の線量当量 (mSv)	5以下	5を超え15以下	15を超え25以下	25を超え50以下	50を超えるもの	計
	放射線業務従事者数(人)						
	女子(妊娠不能と診断された者を除く)の放射線業務従事者の3月間の線量当量分布						
	3月間の線量当量 (mSv)	1.3以下	1.3を超え4以下	4を超え13以下	13を超えるもの		計
	放射線業務従事者数(人)	前半の3月間(4~6月)	5	0	0	0	5
	前半の3月間(4~6月)	5	0	0	0	5	
核燃料物質使用者	放射線業務従事者の1年間の線量当量分布						
	1年間の線量当量 (mSv)	5以下	5を超え15以下	15を超え25以下	25を超え50以下	50を超えるもの	計
	放射線業務従事者数(人)						
	女子(妊娠不能と診断された者を除く)の放射線業務従事者の3月間の線量当量分布						
	3月間の線量当量 (mSv)	1.3以下	1.3を超え4以下	4を超え13以下	13を超えるもの		計
	放射線業務従事者数(人)	前半の3月間(4~6月)	3	0	0	0	3
	前半の3月間(4~6月)	3	0	0	0	3	

表 5 - 9 平成 6 年度上期放射線管理報告書（原子力安全局長あて）

規制区分	線量当量分布										
再処理事業者	放射線業務従事者の1年間の実効線量当量	実効線量当量(人)	5以下(人)	15を超え25以下		25を超え50以下(人)	50を超えるもの(人)	計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)	最大線量当量(mSv)
				15を超え20以下(人)	20を超え15以下(人)						
		自社員									
		他社員									
	計										
	女子の放射線業務従事者の腹部の組織線量当量	腹部の組織線量当量(mSv)		1.3以下	1.3を超え4以下	4を超え13以下	13を超えるもの	合計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)	最大線量当量(mSv)
		前半の3月間(4~6月)	自社員	2	0	0	0	2	0	0.0	0.0
			他社員	3	0	0	0	3	0	0.0	0.0
			計	5	0	0	0	5	0	0.0	0.0
		前半の3月間(7~9月)	自社員	2	0	0	0	2	0	0.0	0.0
他社員			3	0	0	0	3	0	0.0	0.0	
計	5		0	0	0	5	0	0.0	0.0		

表 5 - 9 続き

規制区分	線量当量分布										
	実効線量当量(人)	5以下(人)	15を超え25以下		25を超え50以下(人)	50を超えるもの(人)	計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)	最大線量当量(mSv)	
15を超え20以下(人)			20を超え15以下(人)								
核燃料物質使用者(法令に基づく報告義務がある者)	放射線業務従事者の一年間の実効線量当量										
	自社員										
	他社員										
	計										
核燃料物質使用者(法令に基づく報告義務がある者)	女子の放射線業務従事者の腹部の組織線量当量	腹部の組織線量当量(mSv)		1.3以下	1.3を超え4以下	4を超え13以下	13を超えるもの	合計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)	最大線量当量(mSv)
		前半の3月間(4~6月)	自社員	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	他社員		3	0	0	0	3	0	0.0	0.0	
	計		3	0	0	0	3	0	0.0	0.0	
	前半の3月間(7~9月)	自社員	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
		他社員	3	0	0	0	3	0	0.0	0.0	
		計	3	0	0	0	3	0	0.0	0.0	

表 5 - 9 続き

規制区分	線量当量分布										
	実効線量当量(人)	5以下(人)	15を超え25以下		25を超え50以下(人)	50を超えるもの(人)	計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)	最大線量当量(mSv)	
15を超え20以下(人)			20を超え15以下(人)								
核燃料物質使用者(法令に基づく報告義務がない者)	放射線業務従事者の一年間の実効線量当量										
	自社員										
	他社員										
	計										
核燃料物質使用者(法令に基づく報告義務がない者)	女子の放射線業務従事者の腹部の組織線量当量	腹部の組織線量当量(mSv)		1.3以下	1.3を超え4以下	4を超え13以下	13を超えるもの	合計(人)	総線量当量(人・mSv)	平均線量当量(mSv)	最大線量当量(mSv)
		前半の3月間(4~6月)	自社員	2	0	0	0	2	0	0.0	0.0
	他社員		0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	計		2	0	0	0	2	0	0.0	0.0	
	前半の3月間(7~9月)	自社員	1	0	0	0	1	0	0.0	0.0	
		他社員	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
		計	1	0	0	0	1	0	0.0	0.0	

表 5 - 10 中央登録センターに対する申請件数

(平成6年度)

項目	申請年月										平成7年			合 計
	平成6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事前登録(手帳発行含)		41	18	3	6	10	4							82
指 定 登 録		279	204	174	618	376	561							2,212
指 定 登 録 削 除		2		3	5	1	10							21
事 前 兼 指 定 登 録														0
指 定 解 除 登 録		700	179		297	280	400							1,856
指 定 解 除 登 録 削 除														0
手 帳 発 行 登 録		4	4	1	13		1							23
個 人 識 別 登 録 変 更 ・ 訂 正		4	2	2	2	1								11
個 人 識 別 登 録 削 除														0
過 去 分 定 期 線 量														0
過 去 文 定 期 線 量 削 除														0
定 期 線 量 登 録														0
定 期 線 量 登 録 削 除														0
個 人 識 別 統 合														0
経 歴 紹 介 票						1								1
合 計		1,030	407	183	941	669	976	0	0	0	0	0	0	4,206

表5-11 放射線業務従事者指定・解除処理及び被ばく歴報告書送付件数

(平成6年度)

項目	平成5年										平成6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
従事者指定	306	173	257	539	461	490							2,226	
従事者指定解除	321	93	198	266	410	641							1,929	
個人被ばく歴報告書	82	61	63	72	115	177							570	

表 5 - 12 個人線量計の定期点検状況

(平成6年度第2四半期)

線量計の種類		点検個数			
		7月	8月	9月	合計
TLDバッジ	$\beta \cdot \gamma$ 線量計	1,900	1,155	926	3,981
	n線量計	0	2,670	496	3,166
TLD指リング 線量計	$\beta \cdot \gamma$ 線量計	0	0	0	0
	γ 線量計	0	0	100	100
UD-200S		0	0	0	0
UD-300P2		0	0	0	0
ポケット線量計		0	0	0	0

表 5 - 13 その他の線量測定業務

(平成6年度第2四半期)

部 課 室 名		件 名	使用 期 間	使 用 線 量 計			
				TLDバッジ	TLDリング ($\beta+\gamma$)	TLDリング (γ)	TLD UD-200S
安 全 管 理 部	放 射 線 管 理 第 一 課	作業環境の集積線量測定	07/01～09/30	0	0	0	40
	放 射 線 管 理 第 二 課	作業環境の集積線量測定	07/01～09/30	0	0	0	290
	環 境 安 全 課	環境の集積線量測定	07/01～09/30	0	0	0	297
プルトニウム燃料工場	製 造 加 工 部	セル (R052, 055) 入室前の線量測定	08/23～08/23	0	0	0	2
再 処 理 工 場	化 学 処 理 第 二 課	サンプリングベンチNo10インナーボックス窓交換工事に伴うインナーボックス内の線量測定	07/05～07/06	0	6	0	6
		R220点検・補修に伴う線量測定	07/13～07/13	0	0	0	4
		R220点検・補修に伴う線量測定	07/18～07/18	0	0	0	4
		271P311ポンプ交換作業に伴うR026内線量測定	07/15～07/15	0	0	0	2
		サンプリングベンチNo1, 3, 4, 6線量測定	08/10～08/10	0	12	0	12
		サンプリングベンチNo1, 3, 4, 6のインナーボックス内線量測定	08/18～08/19	0	12	0	12
合 計				0	30	0	669

6. 小集団活動の推進

6.1 東海事業所小集団活動（TSK）の推進

平成6年度TSK推進計画に基づき、第2段階「展開期」における活動を積極的に行った。今期は平成6年度中間活動報告を行うとともに、平成5年度の活動総括として第14回TSK大会を実施した。

6.1.1 主な活動

- (1) 委員会活動 TSK推進部会、TSKだより編集会議を開催しTSK推進に資した。
- (2) 行 事 7月に第14回TSK大会を開催し、その中で平成5年度優良活動課室の表彰等を行った。
- (3) 研 修 TSK推進部会委員の一部が一般企業の小集団活動の情報をうるため外部研修に参加した。
- (4) 広 報 TSKだより第7・8号及び第9号を発行・配付しサークルメンバーの啓発に努めた。

6.2 安全管理部小集団活動（ASK）の推進

平成6年度ASK推進計画に基づき、今期は安全意識をより向上させるため、ASK安全キャンペーンを実施した。

- (1) 委員会活動 ASK推進委員会、ASK推進部会を開催しASK推進に資した。
- (2) 行 事 7月～8月に前期ASK安全キャンペーンを実施した。放射線管理第一課のサークルが会社安全大会で模範発表を行った。
- (3) 研 修 8月にリーダー研修及びASK講演会を実施し、サークルメンバー等の安全意識の高揚に資した。
- (4) 広 報 ASK推進ニュース第45号を発行・配付しサークルメンバーの啓発に努めた。

7. 研究開発等

7.1 個人被ばく線量当量測定・評価技術の開発

7.1.1 外部被ばく線量測定・評価技術の高度化

新型TLDバッジ開発のため、バッジケース材料の選定を行っている。B₄Cを適量プラスチックに混入することで、現行のTLDバッジに使用しているCd板とほぼ同等の熱中性子遮蔽性能を得ることが可能であり、強度的にも実用可能であることを確認した。

中性子個人線量計の校正方法の標準化に関する研究については、事業団の公式線量計であるTLDバッジと、TLDバッジ内に試験的に取り付けられた固体飛跡検出器との間にある一定の関係があることを見いだした。この関係を利用することで実作業環境中でのTLDバッジの最適な線量当量換算係数を推定することが可能である。

7.1.2 内部被ばく線量測定・評価技術の向上

複数のGe型検出器を用いた肺モニタシステムの実用化に向けて、Ge検出器の検出効率の向上や放射性物質の沈着部位の検出のための配置本数・配置位置の検討を計算コードを用いて行っている。現在、この計算に必要な検出器の性能試験及び人体の体格に関するデータの収集を行っている。

7.2 放射線モニタリング技術の開発

7.2.1 放射線測定器の校正技術の標準化

ガラス線量計システムの整備については、ガラス線量計を用いたγ線校正場の事業所間相互比較を社内に定着させるため運用マニュアルを作成中である。ダストモニタ専用の校正用線源の製作に関する調査・研究については、調査研究項目の詳細を検討し作業を開始した。また、計量法に基づく計量標準認証制度への対応に関しては、認定事業者に係る情報、資料の収集を行うとともに、申請書類を継続して作成した。

7.2.2 プルトニウム取扱施設における中性子スペクトルの測定

ICRP Pub.60の法令取り入れへの対応として、中性子線の測定精度の向上を図るため、中性子エネルギースペクトルの測定を実施している。今期は、プルトニウム燃料

第三開発室のペレット製造工程ラインにおける作業環境中の中性子エネルギースペクトル測定データの整理を継続して実施するとともに、燃料製造計画に沿った測定計画を検討した。

7.2.3 新技術の適用による方法の改良と標準化

再処理施設から大気中に放出される放射性ヨウ素について、その測定技術の高度化を実施している。

半導体検出器を用いた放射性ヨウ素の測定技術に関しては、94-1キャンペーンの実排気を用いた現場適用試験のデータ整理を行った。また、94-2キャンペーンにおいても継続して試験を実施した。

有機ヨウ素の光化学反応による無機ヨウ素への分解法に関しては、実排気中に含まれる極微量なヨウ素の分析方法についての検討を行うとともに、分解率向上のための阻害因子の検討を行っている。また、94-2キャンペーンにおける実排気の光化学反応試験を開始した。

7.2.4 放射線管理情報集中処理システムの開発

放射線管理業務の計算機処理に係わる効率化・高度化計画を見直し、システム構築計画書を取りまとめた。また、放射線作業管理のシステム化については、データ解析処理・帳票検索処理に係わるソフト製作の詳細仕様を決定した。

7.3 環境安全技術の開発

7.3.1 環境影響評価手法に関する研究

「自然環境汚染の影響と評価に関する調査研究」及び「表層土壌圏における核種動態等に関する研究」については、今後の研究の方向性について詳細に検討した。また、事故時の環境影響評価を目的としたダイナミックエコロジカルモデルの開発については、栽培密度等の各種パラメータについて文献調査を行った。

7.3.2 放射性核種の環境移行に関する研究

各種環境試料中の ^3H 、 ^{14}C 、 ^{129}I 、 $^{239,240}\text{Pu}$ 、 ^{241}Am 等の放射性核種の分析・測定を継続的に実施し、環境中における分布を引き続き調査した。

また、土壌中における ^{99}Tc の移行挙動を解明するためバッチ試験を行い、酸化・還

元電位や有機物含量が移行挙動へ及ぼす影響について解析した。

7.3.3 分析技術の開発に関する研究

I C P - M S を用いた ^{237}Np の分析法の高度化研究としては、電熱気化装置を用いた試料溶液の濃縮法を検討し、検出感度及び測定精度の向上を図った。

^{147}Pm 及び ^{151}Sm の分析法の開発に関しては、土壌コア試料の分析を行い、これら核種の鉛直分布を調査した。

7.4 安全工学研究

7.4.1 空气中放射性物質の挙動評価技術の開発

前年度に行った汎用多次元熱流動解析コード (A Q U A) に組み込んだ重力沈降モデルによる室内気流解析結果及び粒子拡散解析結果のデータ整理を行った。また、A Q U A のワークステーション化を図る検討を開始した。

7.4.2 放射性物質の閉じ込めに関する研究

グローブボックス内火災の消火試験を消火ガスとして窒素ガス及び炭酸ガスを対象に実施し、消火特性や消火ガス放出時の給排気系の応答挙動の把握を行った。

7.4.3 異常事象挙動に関する研究

示差走査熱量計を用いて T B P - ドデカン - 硝酸系、T B P、ドデカン及び C M P O の飽和反応熱量等の測定を行った。また、C M P O 及び T B P - ドデカンの混合溶液について引火点の測定を行った。

7.4.4 核燃料施設の安全解析手法の開発・整備

臨界安全については、M O X 燃料加工施設の M O X 粉末系を対象として、臨界安全ガイドブックの作成及び M C N P 4 コードを用いて臨界ベンチマーク計算を継続した。

また、遮へい安全解析については、E G S 4 のスカイシャイン計算への適用性の検討を実施するとともに、スカイシャイン評価コードシステムの整備を継続して行った。

7.4.5 核燃料施設の確率論的安全評価に関する研究

信頼性データの収集・整備については、信頼性データベースのプログラムの改良を行った。P S A 手法の開発・整備については、再処理施設のヒューマンファクター分析に関するシステム開発のための検討を行った。モデルプラントへの P S A 適用研究

では、昨年度の再処理モデルプラントの高放射性廃液貯蔵工程へのP S A適用検討結果の中で事故発生確率に大きく寄与することが示された事象についてさらに詳細な検討を行うとともに、高放射性廃液貯蔵工程のレベル2 P S Aの検討に着手した。

8. 外部発表等

8.1 外部発表（学会論文発表、外部機関誌論文発表、その他の外部発表）

題名	発表誌名または学会名等	発行者または主催者	発行日または開催日	発表担当課
A Rapid Separation Method for Determination Samarium-151 and Promethium-147 in Environmental Samples with High Performance Liquid Chromatography	第5回生体及び環境試料中のアクチニド・長半減期核種の低レベル測定国際会議	生体及び環境試料中のアクチニド・長半減期核種の低レベル測定法に関する国際委員会	7/10~15	環境安全課
The Criticality Calculation of an Infinite Array of PWR Spent Fuel Rods	OBCD/NEA/NSC 燃焼度クレジット臨界ベンチマーク定例会合	OBCD/NEA/NSC	7/11~13	安全技術課
汎用ユーザズ版EGS4のスカイライン線量評価への適用検討(2)	第4回「EGS4研究会」	高エネルギー物理学研究所	7/26	〃
勉強会「ICRP新呼吸気道モデル(Pub 66)とその実務への適用」	日本保健物理学会勉強会	日本保健物理学会	8/10	安全対策課
再処理施設HAZOP支援システムの開発	日本原子力学会1994年秋の大会	(株)日本原子力学会	9/28~30	安全技術課
逐次型ARMAモデル同定による臨界安全監視システム開発の基礎研究	〃	〃	〃	〃
MOX粉末系の臨界ベンチマーク計算におけるNCPA4とKENO V. aの比較計算(Ⅱ)	〃	〃	〃	〃
TLDバッジによる中性子個人被ばく線量当量の評価手法に関する研究(Ⅰ) - プルトニウム取扱い施設におけるTLDバッジと固体飛跡検出器の相関関係 -	〃	〃	9/30	安全対策課
TLDバッジによる中性子個人被ばく線量当量の評価手法に関する研究(Ⅱ) - n/γ分離精度と線量当量評価式の誤差評価モデル -	〃	〃	〃	〃